榛原町遺跡調査集Ⅰ

榛原町文化財調査概要　15

1995

榛原町教育委員会

榛原町遺跡調査集 I

榛原町文化財調査概要　15

1995

榛原町教育委員会

例　　言

1　本書は、榛原町教育委員会が1972年度（昭和47年）から1994年度（平成６年）までに実施した発掘調査等の概要を収録した『榛原町遺跡調査集Ⅰ』（榛原町文化財調査概要15）である。

2　本書には、すでに発掘調査報告書等を刊行している遺跡も含めて表２に発掘調査等一覧表としてまとめ、別途報告書の刊行を予定している遺跡以外の小規模発掘調査の概要を中心に掲載している。

3　1984年（昭和59年）以降の調査記録、遺物等は榛原町教育委員会において保管している。なお、1972年（昭和47年）～1983年（昭和58年）までの調査記録、遺物等は奈良県立橿原考古学研究所または関西大学等において保管されている。

4　本書の執筆・編集は、井上好美、山本美恵子、南信子、杉本淳子の協力のもと、榛原町教育委員会　社会教育課技師　柳澤一宏が担当した。

目　　次

Ⅰ 位　置　と　環　境……1
1 地理的環境
2 歴史的環境
Ⅱ 埋蔵文化財発掘調査の概要……3
Ⅲ 発　掘　調　査　概　要……25
1 八滝家ノ前遺跡……25
2 丹切遺跡（第2次）……27
3 母里遺跡群……29
(1) 母　里　遺　跡……29
(2) 母里イモリ遺跡……32
(3) 母里シバノタニ遺跡……33
4 沢遺跡隣接地……35
Ⅳ 立　会　調　査　概　要……38
1 桧牧市場遺跡……38
2 八滝家ノ前遺跡……40
3 沢カジヤ谷地区……42
4 坊ノ浦遺跡……42
5 坊ノ浦遺跡……44
6 丹切古墳群……45
7 丹　切　遺　跡……46
8 丹　切　遺　跡……47
9 丹　切　遺　跡……48
10 戒　場　遺　跡……49
11 八滝長坂遺跡……50
12 笠間所在遺跡……51

Ⅰ 位 置 と 環 境

1 地理的環境

奈良盆地の東方の山間部に宇陀と呼ばれている地域が広がっており、現在の行政区画では大宇陀町、榛原町、菟田野町、室生村、曽爾村、御杖村からなっている。この宇陀地方は地理的な状況から西半と東半に大別でき、一般に前者が「口宇陀」、後者が「奥宇陀」とも総称されている。口宇陀は標高 300～ 400mの丘陵とこの間を縫って流れる中小河川が複雑に入り乱れ、これらが幾つもの小盆地や浅い谷地形を形成しており、口宇陀盆地とも総称され、大宇陀町、榛原町、菟田野町の大半がここに含まれている。これに対し、東部の奥宇陀は室生山地、高見山系などの峻しい山々が連なっており、奥宇陀山地とも呼称されている。口宇陀地域の主要河川は、西に宇陀川、東に芳野川があり、幾つもの小河川を合わせながら榛原町萩原で宇陀川本流となる。榛原を後にした宇陀川は三重県で名張川となり、木津川、淀川を経て遠く大阪湾へと至り、大和川流域とは水系を異にしている。

榛原町の四周は概ね標高約 400～ 800mの山塊に囲まれ、東は高城岳、三郎岳、室生村へと通じる石割峠があり、北は大和高原とをわける額井岳、香酔山、鳥見山などの山々が屏風状に連なり、宇陀の地を見下ろしている。西は桜井市や大宇陀町、南は菟田野町となっており、丘陵をもってそれぞれの境界としている。地形的にみれば榛原町の西半は口宇陀的、東半は奥宇陀的な様相を呈している。

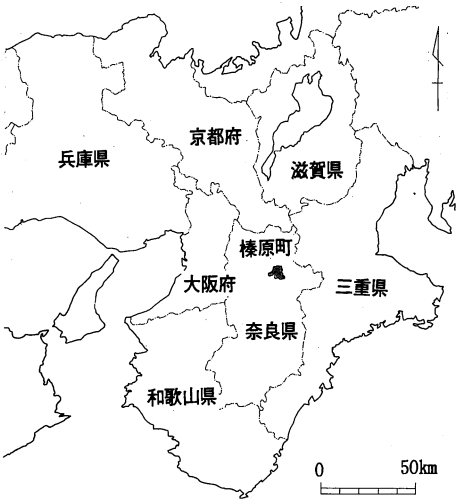

図１　榛原町位置図

2 歴史的環境

宇陀地方は、『古事記』、『日本書紀』をはじめとする多くの文献にも度々登場し、軍事・交通の要衝であったことを窺い知ることができ、今に残る地名や伝承なども多い。また、榛原町を流れる宇陀川・芳野川・内牧川流域の各所には多くの遺跡が分布しており、発掘調査・分布調査を重ねるたびにその数も増加している。

これまでに、宇陀郡内では３点の有舌尖頭器が出土しており、うち、２点が町内から出土していることが明らかとなっている。これらは、旧石器時代末期から縄文時代草創期に求めることができ、

この頃が宇陀の歴史の初源であろう。

縄文時代の遺跡の多くは、先述の河川流域の河岸段丘上、尾根上、谷部等に認められる。これらの遺跡の多くは、採集遺物によっているため、その実態が必ずしも明らかとはいえない。また、発掘調査によって確認された場合でも、数点の遺物が出土しているのみで遺跡の全容が明らかになったものは少ない。このような状況のもと高井遺跡では、早期から後期にわたる集落跡であることが発掘調査によって明らかとなっている。

弥生時代前期から中期の遺跡は、沢遺跡、下城・馬場遺跡、大貝ヒジキ山遺跡、上井足北出遺跡をはじめとする数遺跡が知られているにすぎないが、後期の遺跡は比較的多く認められる。これらは、地理的制約のためか奈良盆地で見られるような大規模な集落ではないが、次代の古墳時代へと継続するものが多い。

弥生時代後期から古墳時代前期の墳墓である台状墓は、これまでに野山遺跡群、能峠遺跡群、下井足遺跡群、大王山遺跡群、キトラ遺跡などで確認されている。この頃の集落としては、戸石・辰巳前遺跡、高田垣内遺跡、能峠中島遺跡、上井足北出遺跡、谷遺跡などを挙げることができ、谷部を流れる川跡や竪穴式住居跡などが確認されている遺跡もある。

古墳時代前期の古墳は谷畑古墳、中期の古墳としては高山１号墳、シメン坂１号墳、前山１号墳などが発掘調査によって明らかにされている。後期となると古墳数は著しく増加し、ある程度の粗密があるものの、町内各所の尾根上には数基から十数基単位で分布している。５世紀後半から盛期を迎える古墳群は野山古墳群、沢古墳群、栗谷古墳群、大王山古墳群、丹切古墳群などが知られている。６世紀後半以降、今までの木棺直葬墳にかわって横穴式石室墳が築造されるようになり、丹切古墳群、能峠古墳群、石田古墳群、大貝古墳群、西谷古墳群をはじめ、多くの古墳が発掘調査によって状況が明らかになっている。

横穴式石室にかわる新しい葬法として火葬墓が登場してくるが、最も代表的なものが、壬申の乱で活躍した将軍のひとりで渡来系氏族でもある文祢麻呂の墳墓である。現在、墳墓は史跡、墓誌などの出土品は国宝となっている。

古代末には宇陀においても荘園の開発が急速に進み、このなかで台頭してきた在地武士団は、興福寺、春日社などの支配のもと各自が発展を続けた。この武士団は「宇陀三人衆」の秋山氏・沢氏・芳野氏に代表され、彼らは秋山城、沢城、芳野城をそれぞれの居城としていた。また、小規模な城館跡も各所に点在しており、城館の廃絶後、中世墓地と化したところもある。いわゆる中・近世墓地は、まとまったところでは、大王山遺跡、能峠遺跡群、八咫烏遺跡群、野山遺跡群などが発掘調査により明らかにされている。

（参考文献等省略）

Ⅱ　埋蔵文化財発掘調査の概要

榛原町内では、1968年（昭和43年）以降、土木工事等の開発行為にともなう埋蔵文化財の発掘調査が奈良県教育委員会及び奈良県立橿原考古学研究所によって実施されている。また、榛原町教育委員会が調査主体の発掘調査は、1972年（昭和47年）より実施しているが、1983年（昭和58年）までは調整及び発掘調査等は、研究者や奈良県立橿原考古学研究所等に依頼していた。

1984年（昭和59年）からは、ようやく、榛原町教育委員会の発掘調査体制が整い、これ以降、町事業・民間事業等に伴う発掘調査を中心に実施しているが、諸般の事情から十分な整理作業が実施できず、未報告資料等も増加傾向にある。このような状況のもと、本書には、これまでの調査成果の概要を整理するため、榛原町教育委員会が1984年（昭和59年）以降に取り扱った埋蔵文化財発掘届・発掘調査等を表１、表２としてまとめ、あわせて発行文献一覧表（表３）も掲げている。

表１　埋蔵文化財発掘届・発掘調査件数等一覧表

摘要＼年度	1984 昭和59	1985 昭和60	1986 昭和61	1987 昭和62	1988 昭和63	1989 平成元	1990 平成２	1991 平成３	1992 平成４	1993 平成５	1994 平成６	合計
遺跡有無確認踏査願	4	5	5	1	4	3	4	2	2	2	1	33
埋蔵文化財発掘届(法57－2)	0	0	0	3	2	0	4	4	11	3	9	36
埋蔵文化財発掘通知(法57－3)	3	3	3	6	13	6	9	4	7	7	5	66
埋蔵文化財発掘届・通知合計	3	3	3	9	15	6	13	8	18	10	14	102
発掘調査(町教育委員会担当)	2	5	4	6	4	3	7	7	6	8	10	62
立会調査(町教育委員会担当)	0	0	1	2	4	1	0	0	3	2	2	15
測量調査(町教育委員会担当)	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
調査件数合計	2	5	5	8	8	4	7	8	10	10	12	79

表2　発掘調査等一覧表

１９７２（昭和47）～１９８３（昭和58）年度

番号	調査別	榛原町遺跡地図番号・奈良県遺跡地図番号	遺跡名	調査地	現地調査期間	調査原因（原因者）	調査面積（㎡）
1	発掘調査	1－70・15－B－5	谷畑古墳	榛原町萩原	1972・7・12～1972・8・21	小学校建設工事（榛原町）	
2	発掘調査	2－197～－205・15－B－97－101－234	大王山遺跡	榛原町下井足篠楽	1973・5・28～1973・11・1	小学校建設工事（榛原町）	
3	発掘調査	2206・	大王山遺跡（大王寺跡）	榛原町下井足	1974・4・26～1974・5・14	小学校建設工事（榛原町）	
4	発掘調査	1－34・12－D－10	長峯出口山地区	榛原町長峯133	1978・7・21～1978・7・30	道路建設工事（榛原町）	約50
5	発掘調査	4－21・105－1	文祢麻呂墓	榛原町八滝1557-4 1558-3	1981・3・15～1981・4・31	範囲確認調査（榛原町）	140

１９８４（昭和59年）年度

番号	調査別	榛原町遺跡地図番号・奈良県遺跡地図番号	遺跡名	調査地	現地調査期間	調査原因（原因者）	調査面積（㎡）
6	発掘調査	2－546・15－D－90	下城・馬場遺跡（１次調査）	榛原町沢1302、1309-1	1984・8・18～1984・10・27	集落センター建設工事（榛原町）	220
7	発掘調査	1－71～84・15－B－3－4－6	神木坂古墳群（１次調査）萩原ドタニ遺跡	榛原町萩原下井足	1984・9・17～1985・1・12	土地区画整理工事（榛原町）	

１９８５（昭和60）年度

番号	調査別	榛原町遺跡地図番号・奈良県遺跡地図番号	遺跡名	調査地	現地調査期間	調査原因（原因者）	調査面積（㎡）
8	発掘調査	1－98・15－B－8	丹切遺跡（1次調査）	榛原町下井足90－1	1985・6・27～1985・7・29	郵便局建設工事（郵政省）	260

調査概要		遺跡概要	文献番号（表3）
遺構	遺物		
円墳1 中世墓1	銅鏡、筒形銅器、石釧、鉄製武器類（素環頭大刀、鉄刀、鉄槍、鉄剣）、鉄製農工具類（鉈、鑿、斧、鎌、、小刀、錐）、朱	古墳時代前葉（4世紀末葉）の古墳中世墓	1974－1
竪穴式住居、溝、石棺墓、木棺墓、土坑墓、方形台状墓1、前方後円墳1、円墳5	サヌカイト、石鏃、弥生、銅鏡、須恵器、土師器、鉄刀、鉄輪、紡錘車、玉類、鉄剣、銀鏃、鉄鎌、八稜鏡、青磁、陶磁器、石造物ほか	弥生時代の住居跡・墓地、古墳時代前期（3世紀後葉）・後期（6世紀前葉）の古墳群、中世墓群、近世寺院跡	1974－2 1977－1
建物遺構、平坦面	土師器、瓦器、陶磁器、瓦、須恵器、弥生土器、鉄釘		
なし	なし	自然地形	
方形墓坑	木炭、鉄釘 （天保2・1831年　墓誌、銅箱、ガラス製骨壷、金銅外容器出土、1952年　国宝指定）	奈良時代の火葬墓	1982－1

調査概要		遺跡概要	文献番号（表3）
遺構	遺物		
自然流路、井戸、土坑、ピット	サヌカイト片、縄文土器、弥生土器、瓦器、土師器、瓦質土器、砥石	縄文時代～古墳時代の遺物散布地（集落跡）、中世の城館跡	1985－1
円墳1、土坑墓6、ピット、木櫃墓 土葬墓1、火葬施設8	石器、弥生土器、土師器、須恵器、土師器、鉄鏃、鉄刀子、切子玉、棗玉、銅環 八稜鏡、灰釉壷、鉄釘 土師器、鉄釘	縄文時代～弥生時代・奈良時代の遺物散布地、6世紀前葉～7世紀中葉の古墳群（3基）、平安時代の墳墓、中世墓	1974－1 1986－1

調査概要		遺跡概要	文献番号（表3）
遺構	遺物		
素掘溝	瓦器、土師器、銭貨	縄文時代～中世の遺物散布地	1986－2

番号	調査別	榛原町遺跡地図番号 ・ 奈良県遺跡地図番号	遺　跡　名	調　査　地	現地調査期間	調査原因 (原因者)	調査面積 (㎡)
9	発掘調査	2－180 ・ (未登載)	上井足北出遺跡 (1次調査)	榛原町上井足	1985・12・16～ 1986・ 2・19	農地造成工事 (榛原町)	318
10	発掘調査	2－181 ・ (未登載)	上井足上出遺跡				270
11	発掘調査	4－11 ・ 103－54～ －56	高井遺跡	榛原町高井	1986・ 2・20～ 1986・ 3・31	農地造成工事 (榛原町)	
12	発掘調査	1－71 ・ (未登載)	神木坂古墳群 (2次調査)	榛原町下井足	1986・ 3・27～ 1986・ 3・31	土地区画整理工事 (榛原町)	144

１９８６（昭和61）年度

番号	調査別	榛原町遺跡地図番号 ・ 奈良県遺跡地図番号	遺　跡　名	調　査　地	現地調査期間	調査原因 (原因者)	調査面積 (㎡)
13	発掘調査	4－11 ・ 103－54～ －56	高井遺跡	榛原町高井	1986・ 4・ 1～ 1986・10・24	農地造成工事 (榛原町)	
14	発掘調査	1－71 ・ (未登載)	神木坂古墳群 （２次調査）	榛原町下井足	1986・ 4・ 1～ 1986・ 4・ 8	土地区画整理工事 (榛原町)	144
15	発掘調査	1－71　－73 －74　－81 ・ 15－B－3 －4	神木坂古墳群 （３次調査）	榛原町萩原 下井足	1986・ 9・ 1～ 1987・ 3・31	土地区画整理工事 (榛原町)	
16	発掘調査	4－22 ・ 105－2	八滝家ノ前遺跡	榛原町八滝 983、984	1987・ 2・10	農地造成工事 (榛原町)	22
17	立会調査	1－67 ・ (未登載)	桧牧市場遺跡	榛原町桧牧	1986・12・ 2 1986・12・18 1987・ 2・19	農地造成工事 (榛原町)	77

調査概要		遺跡概要	文献番号（表3）
遺構	遺物		
自然流路、溝、土坑、ピット、溝ほか	サヌカイト、縄文土器、弥生土器、石鏃、木製品、木包丁、須恵器、土師器、瓦器ほか	縄文時代～古墳時代・平安時代～中世の遺物散布地（集落跡）	1987－1
なし（自然谷地形）	土師器、瓦器ほか		
土坑、甕棺、溝、竪穴式住居ほか	縄文土器、石鏃、石斧、凹石、磨石、砥石、独鈷石、サヌカイト、須恵器、土師器、黒色土器、瓦器、鉄釘、鉄刀子、鉄滓ほか	縄文時代・奈良時代～平安時代・中世の集落跡	1987－1
なし	土師器	縄文時代～弥生時代・奈良時代の遺物散布地、6世紀前葉～7世紀中葉の古墳群（3基）、平安時代の墳墓、中世墓	1988－1

調査概要		遺跡概要	文献番号（表3）
遺構	遺物		
土坑、甕棺、溝、竪穴式住居ほか	縄文土器、石鏃、石斧、凹石、磨石、砥石、独鈷石、サヌカイト、須恵器、土師器、黒色土器、瓦器、鉄釘、鉄刀子、鉄滓ほか	縄文時代・奈良時代～平安時代・中世の集落跡	1987－1
なし	土師器	縄文時代～弥生時代・奈良時代の遺物散布地6世紀前葉～7世紀中葉の古墳群（3基）、平安時代の墳墓、中世墓群	1988－1
方墳1、円墳1、土坑墓1 土葬墓7、火葬施設4、土坑	須恵器、土師器、金環、鉄刀子、鉄釘、新羅系土器、黒色土器、銭貨ほか		1988－1
なし（自然谷地形）	土師器	中世の遺物散布地	本書
なし	土師器	中世の遺物散布地	本書

１９８７（昭和62）年度

番号	調査別	榛原町遺跡地図番号・奈良県遺跡地図番号	遺跡名	調査地	現地調査期間	調査原因（原因者）	調査面積（㎡）
18	発掘調査	1－98・15－B－8	丹切遺跡（２次調査）	榛原町萩原177－1	1987・7・17	宅地造成工事（三和相互株式会社）	34
19	発掘調査	2－485・15－D－184	母里遺跡	榛原町母里149、252－1、254	1987・12・15～1987・12・21	農地造成工事（榛原町）	37
20	発掘調査	2－496・（未登載）	母里イモリ遺跡	榛原町母里64－2、89－1、91－2			24
21	発掘調査	（未登載）・（未登載）	母里シバノタニ遺跡	榛原町母里120、123、134			34
22	発掘調査		沢遺跡隣接地	榛原町沢 大貝 山路	1987・12・17～1987・12・18	農地造成工事（榛原町）	126
23	発掘調査	2－180・（未登載）	上井足北出遺跡（２次調査）	榛原町上井足	1987・12・10～1988・2・29	農地造成工事（榛原町）	866
24	立会調査	4－22・105－2	八滝家ノ前遺跡	榛原町八滝981	1987・7・23	農地造成工事（個人）	
25	立会調査	2－552、553・15－D－95 202	沢カジヤ谷地区	榛原町沢686－1、687－1 688－1	1988・2・10	個人住宅建設工事（個人）	

１９８８（昭和63）年度

番号	調査別	榛原町遺跡地図番号・奈良県遺跡地図番号	遺跡名	調査地	現地調査期間	調査原因（原因者）	調査面積（㎡）
26	発掘調査	1－84・（未登載）	神木坂古墳群（４次調査）	榛原町萩原	1988・6・26～1988・7・22	土地区画整理工事（榛原町）	23
27	発掘調査	2－631・（未登載）	大貝ヒジキ山遺跡	榛原町大貝181、189－1、189－2	1988・9・26～1988・12・28	農地造成工事（榛原町）	360
28	発掘調査	4－17・105－2	赤埴下志明遺跡	榛原町赤埴759、762、778、779 780、789、790、791 794、796、797	1988・11・5～1989・2・19	農地造成工事（榛原町）	1050

調査概要		遺跡概要	文献番号（表3）
遺構	遺物		
なし(自然谷地形)	弥生土器、須恵器、瓦器、土師器	縄文時代～中世の遺物散布地(集落跡)	本書
なし(自然谷地形)	瓦器	弥生時代・古墳時代・中世の遺物散布地	本書
なし(自然谷地形)	瓦器	中世の遺物散布地	本書
なし(自然谷地形)	土師器、瓦器、陶器、磁器	中世の遺物散布地	本書
なし(氾濫原)	なし		本書
自然流路、溝、土坑、ピット、掘立柱建物	サヌカイト、縄文土器、弥生土器、石鏃、石包丁、銅鏃、木製品(木包丁、鍬、鋤、槽、刀子ほか)、須恵器、土師器、黒色土器、瓦器、陶磁器、青磁、鉄滓、鉄釘、土錘ほか	縄文時代～古墳時代・平安時代～中世の遺物散布地(集落跡)	
落ち込み状遺構	須恵器、土師器、瓦器	中世の遺物散布地	本書
なし	なし		本書

調査概要		遺跡概要	文献番号（表3）
遺構	遺物		
土坑	土師器、黒色土器、瓦器、狐形土製品	縄文時代～弥生時代・奈良時代の遺物散布地 6世紀前葉～7世紀中葉の古墳群(3基) 平安時代の墳墓 中世墓群	1989－1
自然流路 土葬墓9、火葬施設11、土坑、石敷遺構	縄文土器、弥生土器、石斧、石鏃、古式土師器、須恵器、土師器、瓦器、木製品(鋤、鍬ほか)、陶器、銭貨、五輪塔ほか	縄文時代～古墳時代・中世の遺物散布地 中世墓群	1991－1
掘立柱建物、礎石建物、溝、土坑、ピット、石列ほか	石鏃、須恵器、土師器、瓦器、陶磁器、鉄釘、鉄刀子、五輪塔、石臼、筒状銅製品	縄文時代・中世の遺物散布地 中世の建物跡	1990－1

番号	調査別	榛原町遺跡地図番号 ・ 奈良県遺跡地図番号	遺　跡　名	調　査　地	現地調査期間	調 査 原 因 (原因者)	調査面積 (㎡)
29	発掘調査	2－355 ・ 15－B－129	高塚遺跡 (2次調査)	榛原町高塚	1989・1・21～ 1989・2・27	下水道敷設工事 (奈良県)	17
30	立会調査	4－3 ・ 103－51	坊ノ浦遺跡	榛原町自明	1988・6・16～ 1989・2・3	河川改修工事 (奈良県)	
31	立会調査	4－3 ・ 103－51	母里遺跡隣接地	榛原町母里	1988・11・14～ 1988・11・15	下水道敷設工事 (奈良県)	
32	立会調査	・	丹切古墳群	榛原町下井足	1988・11・22	グランド整備工事 (奈良県)	
33	立会調査	2－355 ・ 15－B－129	高塚遺跡	榛原町高塚	1989・3・1～ 1989・3・30	下水道敷設工事 (奈良県)	

1989（平成元年）年度

番号	調査別	榛原町遺跡地図番号 ・ 奈良県遺跡地図番号	遺　跡　名	調　査　地	現地調査期間	調 査 原 因 (原因者)	調査面積 (㎡)
34	発掘調査	2－621・622 ・ (未登載)	西谷1号墳 2号墳	榛原町桧牧 580	1989・5・15～ 1989・8・19	老人養護施設建設工事 (社会福祉法人 徳成会)	
35	発掘調査	4－14 ・ (未登載)	赤埴牛ノ尾地区	榛原町赤埴	1989・6・26～ 1989・8・31	農地造成工事 (榛原町)	162
36	発掘調査	2－516 ・ 15－D－75	大貝古墳群 ヲマエジリ1号墳 ヲマエジリ2号墳	榛原町大貝 338－1、520	1989・10・23～ 1990・3・19	農地造成工事 (個人)	515
37	立会調査	4－3 ・ 103－51	坊ノ浦遺跡	榛原町自明	1990・2・2	河川改修工事 (奈良県)	

調査概要		遺跡概要	文献番号(表3)
遺構	遺物		
なし(自然谷地形・遺物包含層)	弥生土器、古式土師器、土師器、瓦器	弥生時代・古墳時代・中世の遺物散布地(集落跡)	1989−2
なし	なし	縄文時代・平安時代〜中世の遺物散布地	
なし	なし	弥生時代・古墳時代・中世の遺物散布地	
なし	なし	縄文時代・平安時代〜中世の遺物散布地	本書
なし	なし	弥生時代・古墳時代・中世の遺物散布地(集落跡)	1989−2

調査概要		遺跡概要	文献番号(表3)
遺構	遺物		
円墳2(横穴式石室墳)　土坑	須恵器、土師器、鉄刀、鉄刀子、鉄釘、金環、銅環、瓦器、サヌカイトほか	6世紀後葉の古墳群(5基)	1991−2
なし	なし	自然地形	1990−1
横穴式石室墳2、土坑、土坑	縄文土器、須恵器、土師器、鉄刀子、金環、銅環、土師器、五輪塔	6世紀後葉〜7世紀前葉の古墳群	1990−3
なし	なし	縄文時代、平安時代〜中世の遺物散布地	本書

１９９０（平成２）年度

番号	調査別	榛原町遺跡地図番号・奈良県遺跡地図番号	遺跡名	調査地	現地調査期間	調査原因（原因者）	調査面積（㎡）
38	発掘調査	4－34・105－19	内牧カラト遺跡	榛原町内牧257	1990・6・12～1990・7・17	林道建設工事（榛原町）	50.3
39	発掘調査	2－516・15－D－75	大貝古墳群ヲマエジリ２号墳（２次調査）	榛原町大貝520	1990・7・26～1991・3・20	農地造成工事（個人）	80
40	発掘調査	1－100・(未登載)	下井足カワタ遺跡（１次調査）	榛原町下井足155、156	1990・8・8～1990・8・22	道路建設工事（榛原町）	40
41	発掘調査	2－222・(未登載)	篠楽アサマ遺跡（１次調査）	榛原町篠楽52ほか	1990・11・1～1990・11・28	ゴルフ練習場建設工事（トーワ企画株式会社）	620
42	発掘調査	4－41・(未登載)	赤埴上俵遺跡	榛原町赤埴1293ほか	1990・11・27～1991・1・23	農地造成工事（榛原町）	443
43	発掘調査	1－112・(未登載)	赤瀬遺跡	榛原町赤瀬303－2ほか	1990・12・17～1991・1・7	農地造成工事（榛原町）	100
44	発掘調査	2－544・15－D－84	沢遺跡（３次調査）	榛原町沢1413－1	1991・2・14～1991・2・27	農業用倉庫建設工事（個人）	12

１９９１（平成３）年度

番号	調査別	榛原町遺跡地図番号・奈良県遺跡地図番号	遺跡名	調査地	現地調査期間	調査原因（原因者）	調査面積（㎡）
45	発掘調査	1－113・(未登載)	萩原西高田遺跡	榛原町萩原1862	1991・4・15～1991・5・10	宅地造成工事（三和相互株式会社）	94
46	発掘調査	1－24・12－D－11	萩原前川遺跡	榛原町萩原2021－1	1991・6・10～1991・6・12	共同住宅新築工事（松塚建設株式会社）	37.7
47	発掘調査	4－23・105－3	八滝長坂遺跡	榛原町八滝1101、1104	1991・6・25～1991・7・2	農地造成工事（榛原町）	212

調査概要		遺跡概要	文献番号(表3)
遺構	遺物		
土坑	凹石(採集)	縄文時代の遺物散布地　奈良時代の祭祀遺跡	1990−2
横穴式石室墳1、土坑、ピット	土師器、瓦器、陶磁器、瓦質土器、鉄釘ほか	6世紀後葉〜7世紀前葉の古墳群(7基)　中世〜近世の遺物散布地(建物跡)	1991−3
溝	サヌカイト、須恵器、土師器	弥生時代〜中世の遺物散布地	1992−2
自然流路、ピット、火葬施設、土坑、溝	サヌカイト、石鏃、弥生土器、須恵器、土師器、瓦器、白玉ほか	弥生時代〜古墳時代、中世の遺物散布地(集落跡)	1992−1
土坑、ピット	サヌカイト、石鏃、須恵器、土師器、瓦器ほか	縄文時代・平安時代・中世の遺物散布地(集落跡?)	
(遺物包含層)	サヌカイト、石鏃、須恵器、土師器、黒色土器、土錘	縄文時代〜古墳時代・中世の遺物散布地	1991−4
なし	サヌカイト、須恵器、土師器、瓦器、陶磁器	縄文時代〜中世の遺物散布地(集落跡)	1991−3

調査概要		遺跡概要	文献番号(表3)
遺構	遺物		
土坑(土坑)24	土師器、陶磁器、鉄釘、銭貨	近世墓 古墳・中世〜近世の遺物散布地	1992−2
なし	サヌカイト片、弥生土器、須恵器、土師器、瓦器	弥生時代〜古墳時代・中世の遺物散布地	1992−2
なし	須恵器、土師器、瓦質土器	古墳時代・中世の遺物散布地	1992−2

番号	調査別	榛原町遺跡地図番号・奈良県遺跡地図番号	遺跡名	調査地	現地調査期間	調査原因（原因者）	調査面積（㎡）
48	発掘調査	2－60・15－B－56	下井足城山古墳群（1～3号墳）	榛原町下井足625－1	1991・5・21～1991・8・13	町道拡幅工事（榛原町）	535
49	発掘調査	1－115・（未登載）	萩原狐ヅカ遺跡	榛原町萩原919－1	1991・7・30～1991・8・23	宅地造成工事（三晃住宅株式会社ほか）	127.6
50	発掘調査	1－100・（未登載）	下井足カワタ遺跡（2次調査）	榛原町萩原155、156	1991・9・4～1991・9・30	道路新設工事（榛原町） 農地造成工事（個人）	110.9
51	発掘調査	3－1・2・103－9・10	戒場遺跡	榛原町戒場268－1、269－1 371、372－1、372－2、435－1、435－2	1991・10・23～1991・12・6	農地造成工事（榛原町）	360
52	測量調査	2－283～285・15－A－194－195－229	行者山古墳群（1～3号墳）	榛原町笠間555、556、558	1991・12・21～1992・1・20	範囲確認調査（榛原町）	

1992（平成4）年度

番号	調査別	榛原町遺跡地図番号・奈良県遺跡地図番号	遺跡名	調査地	現地調査期間	調査原因（原因者）	調査面積（㎡）
53	発掘調査	1－98・15－B－8	丹切遺跡（3次調査）	榛原町萩原元萩原350ほか	1992・4・20～1992・6・12	宅地造成工事（三和相互株式会社）	450.3
54	発掘調査	1－98・15－B－8	丹切遺跡（4次調査）	榛原町萩原元萩原479	1992・8・17～1992・8・29	地区公民館建設工事（榛原町）	70.9
55	発掘調査	2－641・（未登載）	山路蔭引地区	榛原町山路135－1、136	1992・10・22～1992・10・23	上水道配水池建設工事（榛原町）	31
56	発掘調査	2－544・15－D－84	沢遺跡（4次調査）	榛原町沢1411－1	1992・11・17～1992・11・30	農業用倉庫建設工事（個人）	16
57	発掘調査	2－355－356・15－B－129－130	高塚遺跡・鷹塚（3次調査）	榛原町高塚121	1992・11・30～1992・12・15	農業用倉庫建設工事（個人）	6
58	発掘調査	2－645・（未登載）	殿垣内遺跡	榛原町上井足1199－7	1993・3・11～1993・3・12	個人住宅建設工事（個人）	10

調査概要		遺跡概要	文献番号(表3)
遺構	遺物		
円墳3基、土坑、ピット	サヌカイト片、須恵器、土師器、鉄鎌、鉄刀子、瓦器、銭貨	5世紀～6世紀の古墳(木棺直葬墳)群	1992－2
なし	土師器、鉄釘、銭貨	平坦面(近世墓？)	1992－2
溝	須恵器、土師器、鉄釘	弥生時代～中世の遺物散布地	1992－2 1992－3
土坑、溝、ピット	サヌカイト片、須恵器、土師器		
掘立柱建物、溝、土坑、ピット	サヌカイト片、須恵器、土師器、瓦器、青磁	縄文時代・平安時代～中世の遺物散布地 平安時代の寺院跡？	1992－2
前方後円墳1基、円墳2基		5世紀～6世紀の古墳(木棺直葬墳)群	1992－2

調査概要		遺跡概要	文献番号(表3)
遺構	遺物		
自然谷地形(自然流路)	サヌカイト、瑪瑙、弥生土器、須恵器、土師器、黒色土器、墨書土器、製塩土器、灰釉陶器、瓦器、瓦、フイゴ羽口、銭貨(和同開珎、隆平永寶、寛平大寶)、鉄釘、木製品(木簡、下駄、曲物ほか)、自然遺物(種子、馬骨)ほか	縄文時代～中世の遺物散布地(集落跡？)	1993－2
溝1	須恵器、土師器	縄文時代～中世の遺物散布地(集落跡？)	1993－2
土坑1	なし		1993－2
ピット2、土坑1、溝4、焼土坑1	須恵器、土師器、瓦器、陶器、磁器ほか	縄文時代～古墳時代、中世の遺物散布地(集落跡)	1993－1
溝1	須恵器、土師器、瓦器	弥生時代・古墳時代・中世の遺物散布地(集落跡)	1993－1
なし	瓦器	中世の遺物散布地	1993－1

番号	調査別	榛原町遺跡地図番号・奈良県遺跡地図番号	遺跡名	調査地	現地調査期間	調査原因（原因者）	調査面積（㎡）
59	立会調査	1－98・15－B－8	丹切遺跡	榛原町萩原元萩原200－1、201	1992・6・17	駐車場造成工事（個人）	
60	立会調査	1－98・15－B－8	丹切遺跡	榛原町萩原元萩原585・586	1992・8・18	資材置場造成工事（個人）	
61	立会調査	3－1・2・103－9・10	戒場遺跡	榛原町戒場818－2	1993・3・1	構造改善センター建設工事（榛原町）	
62	測量調査	1－18・12－D－6	南山古墳（1次調査）	榛原町萩原元玉小西1868－1	1992・12・24～1993・2・18	範囲確認調査（榛原町）	

1993（平成5）年度

番号	調査別	榛原町遺跡地図番号・奈良県遺跡地図番号	遺跡名	調査地	現地調査期間	調査原因（原因者）	調査面積（㎡）
63	発掘調査	1－15・12－D－34	岩尾火葬墓隣接地	榛原町萩原2741－144	1993・5・12～1993・5・25	無線塔建設工事（関西セルラー電話株式会社）	50
64	発掘調査	2－212～2－220・15－B－91 15－B－92	篠楽向山古墳群	榛原町篠楽41－2他	1993・6・22～1993・10・31	農道建設工事（大字陀町）	820
65	発掘調査	3－46・103－46	桧牧遺跡（3次調査）	榛原町桧牧2107－4	1993・9・20～1994・1・13	公園造成工事（榛原町）	800
66	発掘調査	3－18・（未登載）	山辺三マルズカ遺跡	榛原町山辺三317・332	1993・9・24～1993・9・30	公園造成工事（榛原町）	152
67	発掘調査	4－5・（未登載）	自明廣田遺跡	榛原町自明1356	1993・11・15	農地造成工事（個人）	12
68	発掘調査	2－546・15－D－90	下城・馬場遺跡（2次調査）	榛原町沢1292・1293	1994・1・18～1994・3・18	農地改良工事（個人）	195

調査概要		遺跡概要	文献番号（表3）
遺構	遺物		
なし	なし	縄文時代～中世の遺物散布地（集落跡？）	本書
なし	なし	縄文時代～中世の遺物散布地（集落跡？）	本書
なし	なし	縄文時代・平安時代～中世の遺物散布地 平安時代の寺院跡	本書
		飛鳥時代の磚積石室墳	1993－1

調査概要		遺跡概要	文献番号（表3）
遺構	遺物		
なし	砥石（近代？）1点	奈良時代の墳墓隣接地	1994－2
1号墳－円墳、割竹形木棺1、土器棺 2号墳－楕円形墳、割竹形木棺2 7号墳－円墳、周溝 8号墳－円墳？、箱形木棺1 9号墳－円墳、周溝	1号墳－須恵器、土師器、鉄鏃、鉄刀子、弥生土器ほか 2号墳－須恵器、土師器、鉄鏃、鉄刀子、玉類ほか 7号墳－須恵器、土師器ほか 8号墳－須恵器、金環、鉄鏃 9号墳－須恵器、土師器ほか	5世紀後葉～6世紀前葉の古墳群（11基）	1994－2
土坑、ピット、石列ほか	サヌカイト、弥生土器、須恵器、土師器、瓦器、鉄釘、鉄斧ほか	縄文時代～中世の遺物散布地	1994－2
なし	サヌカイト、弥生土器、須恵器、土師器、瓦器、陶器ほか	弥生時代、古墳時代、中世の遺物散布地	1994－2
なし	なし	縄文時代・中世の遺物散布地	1994－1
礎石建物、掘立柱建物、土坑、ピット、溝	サヌカイト、須恵器、瓦器、土師器、陶磁器、銭貨、鉄釘、犬形土製品、銅製品ほか	縄文時代、弥生時代、古墳時代の遺物散布地 中世の居館跡	1994－1

番号	調査別	榛原町遺跡地図番号・奈良県遺跡地図番号	遺跡名	調査地	現地調査期間	調査原因（原因者）	調査面積（㎡）
69	発掘調査	1－98・15－B－8	丹切遺跡（5次調査）	榛原町下井足46－1、47	1994・2・14～1994・2・28	店舗建設工事（榛原サン開発株式会社）	70
70	発掘調査	1－18・12－D－6	南山古墳（2次調査）	榛原町萩原元玉小西1868－1	1994・3・14～1994・3・29	範囲確認調査（榛原町）	27
71	立会調査	1－98・15－B－8	丹切遺跡	榛原町萩原元萩原344、345	1993・4・9	農地造成工事（個人）	
72	立会調査	4－23・105－3	八滝長坂遺跡	榛原町八滝1125ほか13筆	1994・3・4	農地改良工事（個人）	

１９９４（平成６）年度

番号	調査別	榛原町遺跡地図番号・奈良県遺跡地図番号	遺跡名	調査地	現地調査期間	調査原因（原因者）	調査面積（㎡）
73	発掘調査	3－46・103－46	桧牧遺跡（3次調査）	榛原町桧牧2107－4	1994・5・10～1994・10・26	公園造成工事（榛原町）	1392
74	発掘調査	1－123・（未登載）	長峯柿本遺跡	榛原町長峯200	1994・7・25～1994・8・12	特別養護老人ホーム建設工事（社会福祉法人豊生会）	87
75	発掘調査	4－26・105－5	内牧ウツキナワテ遺跡	榛原町内牧349、351、353、365、366、368～370、372	1994・7・19～1994・10・26	農地造成工事（榛原町）	1493.2
76	発掘調査	4－29・105－8	内牧井ノ上遺跡	榛原町内牧1948－1、1963、1964、1965、1951	1994・11・10～1994・11・21	農地造成工事（榛原町）	219.8
77	発掘調査	4－3・103－51	坊ノ浦遺跡	榛原町自明151	1994・11・4～1994・11・7	水田形状変更（個人）	9
78	発掘調査	2－216・15－B－91	篠楽向山７号墳	榛原町篠楽41－2	1994・11・14～1994・11・24	農道造成工事（大宇陀町）	80
79	発掘調査	1－222・（未登載）	篠楽アサマ遺跡（2次調査）	榛原町篠楽38	1995・1・10	駐車場造成工事（個人）	6.3
80	発掘調査	1－18・12－D－6	南山古墳（3次調査）	榛原町萩原元玉小西1868－1	1994・12・21～1995・3・30	範囲確認調査（榛原町）	73

調査概要		遺跡概要	文献番号（表3）
遺構	遺物		
なし	須恵器、黒色土器、土師器	縄文時代～中世の遺物散布地	1994－2
(墳丘盛土)	須恵器、土師器	飛鳥時代(7世紀)の磚積石室墳	1994－1
なし	なし	縄文時代～中世の遺物散布地	本書
なし	なし	縄文時代～中世の遺物散布地	本書

調査概要		遺跡概要	文献番号（表3）
遺構	遺物		
石組遺構、土坑、ピット	サヌカイト，石鏃、弥生土器、須恵器、土師器、瓦器、陶器、磁器、鉄刀子、鉄釘、鉄斧、砥石ほか	縄文時代～中世の遺物散布地・集落跡	1995－3
火葬墓1	須恵器、土師器、瓦器、陶器、磁器、青磁、鉄刀、鉄釘、銭貨	古墳時代・中世の遺物散布地 平安時代の墳墓	1995－3
掘立柱建物、土坑、溝、ピット	サヌカイト、石鏃、須恵器、土師器、瓦器、陶器、磁器、鉄釘、鉄鎌、鉄滓、銭貨ほか	縄文時代～中世の遺物散布地、平安時代～中世の集落跡	
土坑、ピット	サヌカイト、須恵器、土師器、瓦器、陶器、磁器ほか	縄文時代～中世の遺物散布地	
なし	須恵器、土師器、瓦器	縄文時代、平安時代～中世の遺物散布地	1995－1
(墳丘盛土)	須恵器、土師器、紡錘車	5世紀後葉～6世紀前葉の古墳群(11基)	
なし	土師器	弥生時代～古墳時代、中世の遺物散布地(集落跡)	1995－1
方墳 外護列石（墳丘盛土）	須恵器、土師器、瓦器ほか	飛鳥時代(7世紀)の磚積石室墳	1995－1

番号	調査別	榛原町遺跡地図番号・奈良県遺跡地図番号	遺　跡　名	調　査　地	現地調査期間	調査原因（原因者）	調査面積（㎡）
81	発掘調査	2－546・15－D－90	下城・馬場遺跡（3次調査）	榛原町沢1292	1995・2・20～1995・3・30	農地改良工事（個人）	90
82	発掘調査	1－98・15－B－8	丹切遺跡（6次調査）	榛原町萩原306	1995・2・7	寺院増築工事（法清寺）	10
83	立会調査	2－300・15－B－8	笠間所在遺跡（仮称）	榛原町笠間2414－1	1994・12・16	農業用倉庫建設工事（個人）	
84	立会調査	4－3・103－51	坊ノ浦遺跡	榛原町自明137－1	1994・12・21	個人駐車場（個人）	

調　査　概　要		遺跡概要	文献番号（表3）
遺　構	遺　物		
礎石柱建物、土坑、ピット	サヌカイト、須恵器、土師器、瓦器、瓦質土器、陶器、磁器、青磁、白磁、銭貨、鉄釘、鉄滓、銅製品、ガラス滓、フイゴ羽口、石臼、砥石、犬形土製品、瓦ほか	縄文時代、弥生時代、古墳時代の遺物散布地 中世の居館跡	1995－1
（自然谷地形）	須恵器、土師器、製塩土器	縄文時代～中世の遺物散布地	
なし	なし	古墳時代の遺物散布地	本書
なし	なし	縄文時代、平安時代～中世の遺物散布地	本書

表3　榛原町教育委員会発行埋蔵文化財関係文献一覧表

文献番号	文　　献　　名
1974－1	網千善教・小泉俊夫『谷畑古墳』　関西大学考古学研究室編　1974
1974－2	伊藤勇輔他『大王山遺跡－調査の概要－』　奈良県立橿原考古学研究所編　1974
1977－1	伊藤勇輔他『大王山遺跡』　奈良県立橿原考古学研究所編　1977
1982－1	泉森皎他『文祢麻呂墓発掘調査概要』　奈良県立橿原考古学研究所編　1982
1985－1	柳澤一宏『下城・馬場遺跡』（榛原町文化財調査報告第１集）　1985
1986－1	松田真一・柳澤一宏他『神木坂古墳群』（榛原町文化財調査報告第２集）　1986
1986－2	柳澤一宏『丹切遺跡発掘調査概要』（榛原町文化財調査概要　１）　1986
1987－1	柳澤一宏『榛原町遺跡分布調査概報』（榛原町文化財調査概要　２）　1987
1988－1	柳澤一宏『神木坂古墳群Ⅱ』（榛原町文化財調査報告第３集）　1988
1989－1	柳澤一宏『神木坂古墳群Ⅲ』（榛原町文化財調査報告第４集）　1989
1989－2	柳澤一宏『高塚遺跡第２次発掘調査概要報告書』（榛原町文化財調査概要　３）　1989
1990－1	柳澤一宏『赤埴下志明遺跡発掘調査報告書』（榛原町文化財調査報告第５集）　1990
1990－2	柳澤一宏『内牧カラト遺跡発掘調査報告書』（榛原町文化財調査報告第６集）　1990
1990－3	柳澤一宏『大貝古墳群発掘調査報告書』（榛原町文化財調査概要　４）　1990
1991－1	柳澤一宏『大貝ヒジキ山遺跡発掘調査報告書』（榛原町文化財調査報告第７集）　1991
1991－2	柳澤一宏『西谷古墳群発掘調査報告書』（榛原町文化財調査報告第８集）　1991
1991－3	柳澤一宏他『榛原町内遺跡発掘調査概要報告書　1990年度』（榛原町文化財調査概要　５）　1991
1991－4	柳澤一宏他『赤瀬遺跡発掘調査概要報告書』（榛原町文化財調査概要　６）　1991
1992－1	柳澤一宏『篠楽アサマ遺跡発掘調査報告書』（榛原町文化財調査報告第９集）　1992
1992－2	柳澤一宏『榛原町内埋蔵文化財発掘調査概要報告書　1991年度』（榛原町文化財調査概要　７）　1992
1992－3	柳澤一宏『榛原町内遺跡発掘調査概要報告書　1991年度』（榛原町文化財調査概要　８）　1992
1993－1	柳澤一宏『榛原町内遺跡発掘調査概要報告書　1992年度』（榛原町文化財調査概要　９）　1993
1993－2	柳澤一宏『榛原町埋蔵文化財発掘調査概要報告書　1992年度』（榛原町文化財調査概要　10）　1993
1994－1	柳澤一宏『榛原町内遺跡発掘調査概要報告書　1993年度』（榛原町文化財調査概要　11）　1994
1994－2	柳澤一宏『榛原町埋蔵文化財発掘調査概要報告書　1993年度』（榛原町文化財調査概要　12）　1994
1994－3	柳澤一宏『榛原町遺跡分布地図　1993年度』（榛原町文化財調査概要　13）　1994
1995－1	柳澤一宏『榛原町内遺跡発掘調査概要報告書　1994年度』（榛原町文化財調査概要　14）　1995
1995－2	柳澤一宏『榛原町遺跡調査集Ⅰ』（榛原町文化財調査概要　15）　1995
1995－3	柳澤一宏『榛原町埋蔵文化財発掘調査概要報告書　1994年度』（榛原町文化財調査概要　16）　1995

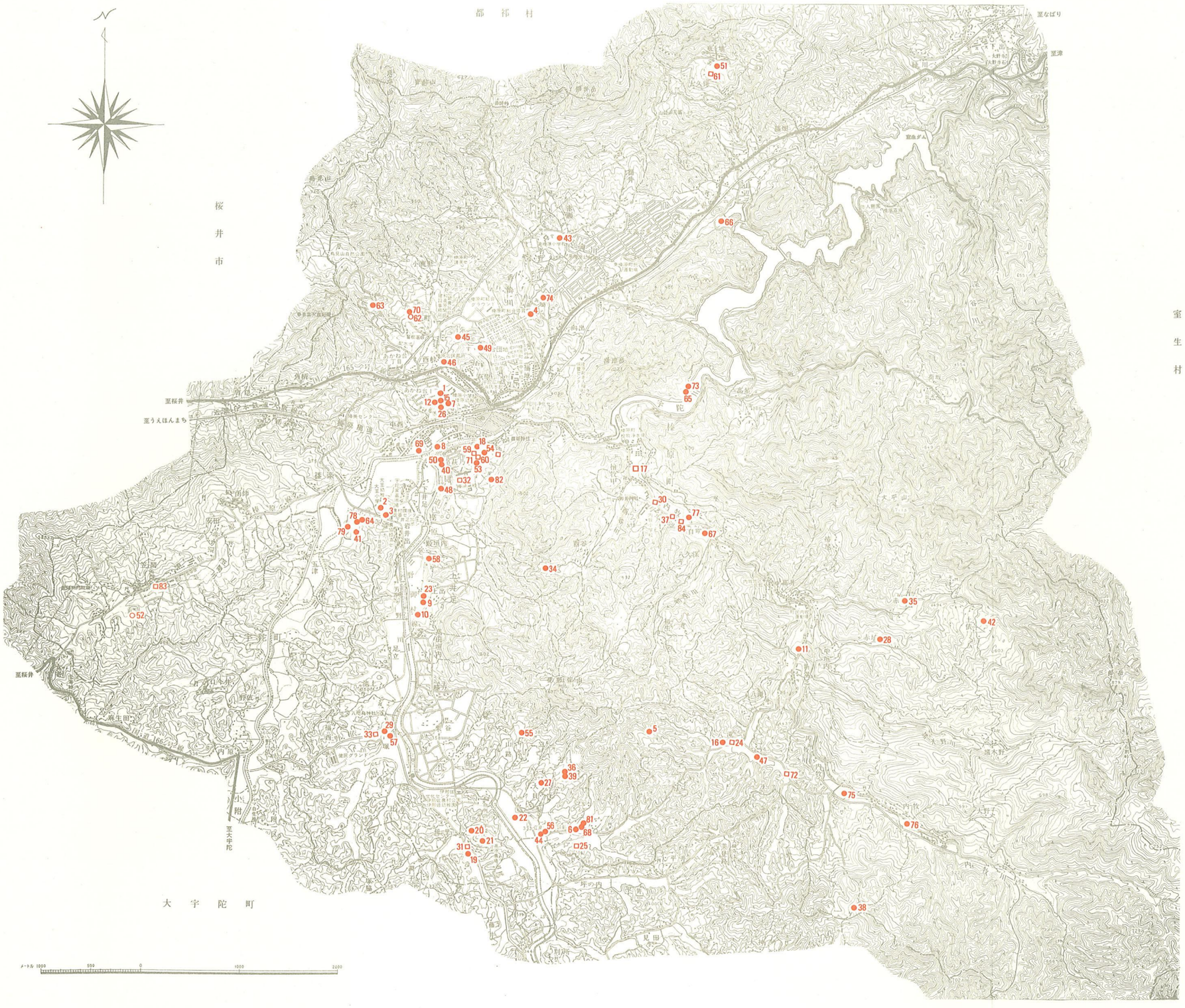

図２　調査遺跡位置図（番号は表２と一致）

Ⅲ 発掘調査概要

1 八滝家ノ前遺跡

遺跡名	八滝家ノ前遺跡（榛原町遺跡地図番号 4-22、奈良県遺跡地図番号 105-2）
調査地	奈良県宇陀郡榛原町大字八滝983、984番地
遺跡立地	標高約490～510mの尾根斜面
遺跡規模	南北約70m、東西約220m
時代・種別	中世の遺物散布地
調査原因	農地造成工事（事業主体：榛原町）
現地調査期間	1987年2月10日
調査面積	22㎡
検出遺構	なし
検出遺物	土師器

調査概要

狭隘な谷部に面した尾根南斜面の水田、畑地を中心に遺跡が立地する。この遺跡西半の水田が圃場整備工事の範囲に含まれることとなったため、2箇所にトレンチを設定した(図3・4)。

基本層序は第1層の耕作土、第2層の灰茶色土、第3層の黄灰色粘土、第4層の淡青灰色粘土の4層に大別できる。壁面が軟質で湧水も著しいことから、深さ1.8mまで掘り下げ作業を行ったに

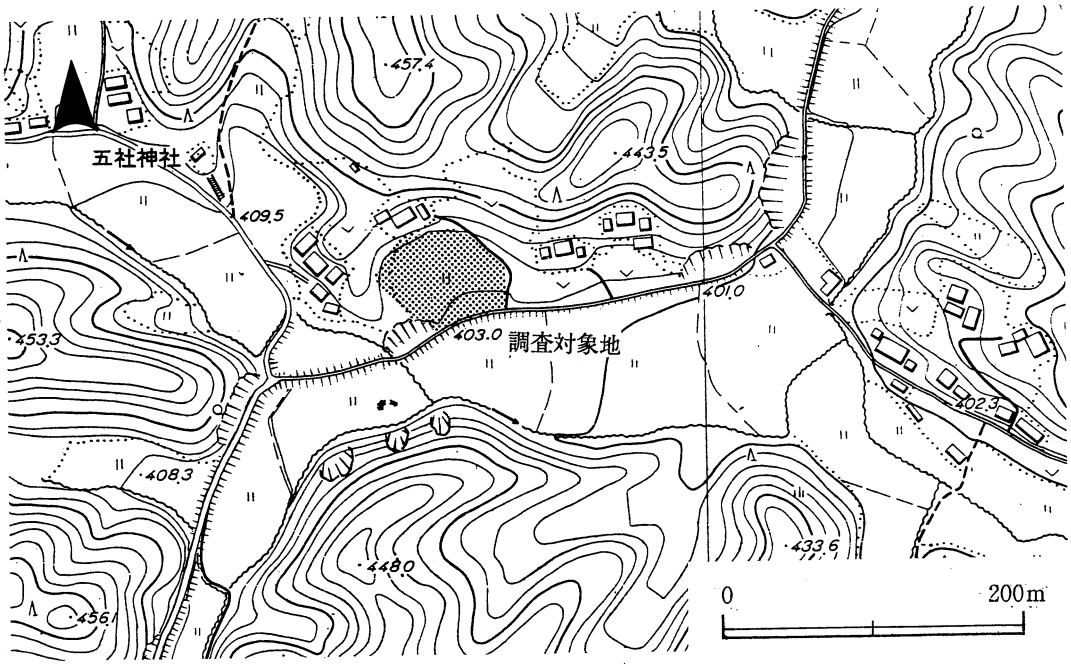

図3 八滝家ノ前遺跡位置図

すぎず、基盤層（地山面）を確認していない(図５)。第２層と第４層から中世の土師皿の細片が出土のみで明確な遺構は認められない。

調査地は自然谷地形の埋没部分と考えられる。

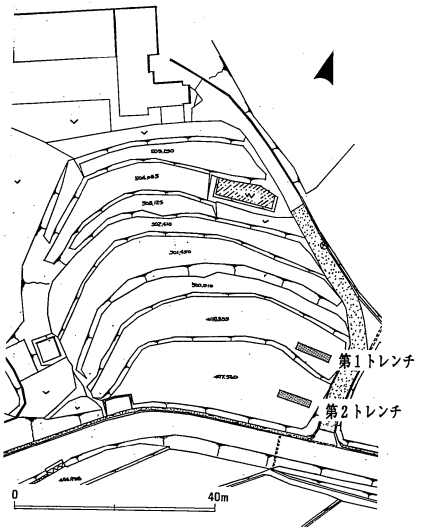

図４　八滝家ノ前遺跡調査位置図

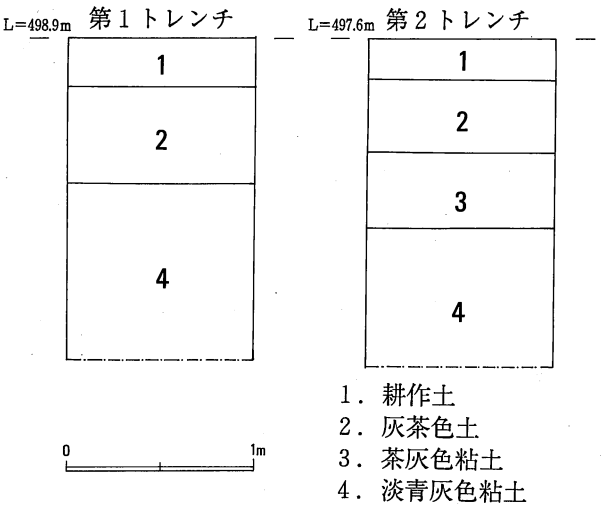

図５　八滝家ノ前遺跡柱状土層断面図

2　丹切遺跡（第２次）

遺　跡　名　丹切（たんぎり）遺跡（榛原町遺跡地図番号 1-98、奈良県遺跡地図番号 15-B-8）

調　査　地　奈良県宇陀郡榛原町大字萩原　元萩原177-1

遺跡立地　標高約306～330ｍの尾根上・谷部・河岸段丘

遺跡規模　南北約700～800ｍ、東西約300～400ｍ

時代・種別　縄文時代～中世の遺物散布地

調査原因　宅地造成工事（事業主体：三和相互株式会社）

現地調査期間　1987年７月17日

調査面積　34㎡

検出遺構　なし

検出遺物　弥生土器、須恵器、土師器、瓦器

調査概要

事業予定地内の水田に２箇所のトレンチを設定し、東を第１トレンチ、西を第２トレンチとした（図６・７）。

第１トレンチの基本層序は第１層の耕作土の直下が橙茶色砂質土の地山となる。地山面の精査を

図６　丹切遺跡（第２次）位置図

行ったが、明確な遺構・遺物等は認められない。

第２トレンチの基本層序は第１層の耕作土、第２層の青灰色粘土、第３層の暗青灰色粘土、第４層の黒灰色粘土、第５層の暗黄灰色砂礫（地山）からなる（図８）。第２層から第４層にかけて弥生土器、須恵器、中世の土師器、瓦器等の細片、自然木が出土している。調査地は自然谷地形が埋没したものと考えられる。

すでに遺跡の大半は土木工事等の開発が進み、その全容把握が困難となりつつあるが、残っている水田を中心に今後も調査を重ねていく必要がある遺跡である。

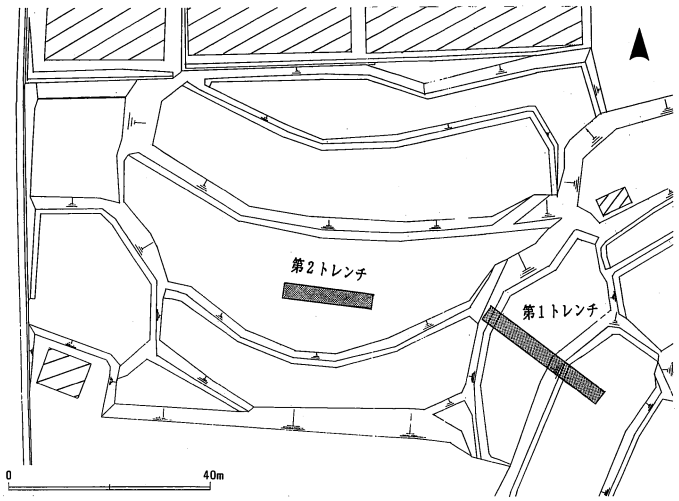

図７　丹切遺跡（第２次）調査位置図

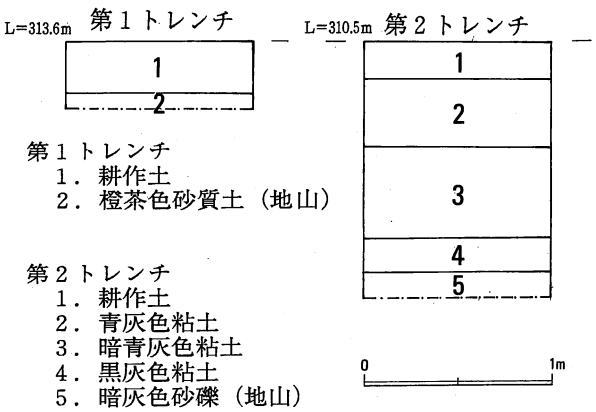

図８　丹切遺跡（第２次）柱状土層断面図

3　母里遺跡群

母里遺跡、母里イモリ遺跡、母里シバノタニ道跡の３遺跡を含む約2.5haの範囲において、圃場整備工事が計画されたため、発掘調査を実施した。これらの３遺跡を本項では「母里遺跡群」と総称することとし、事業予定地内において適宜、10箇所のトレンチ調査を実施したものである。なお、トレンチ名は、整理の都合上、調査時の呼称を用いている（図９・10）。

(1)　母里遺跡

遺　跡　名　　母里（もり）遺跡（榛原町遺跡地図番号 2-485、奈良県遺跡地図番号 15-D-184）

調　査　地　　奈良県宇陀郡榛原町大字母里149、252-1、254番地

遺 跡 立 地　　標高約325～335ｍの河岸段丘・谷

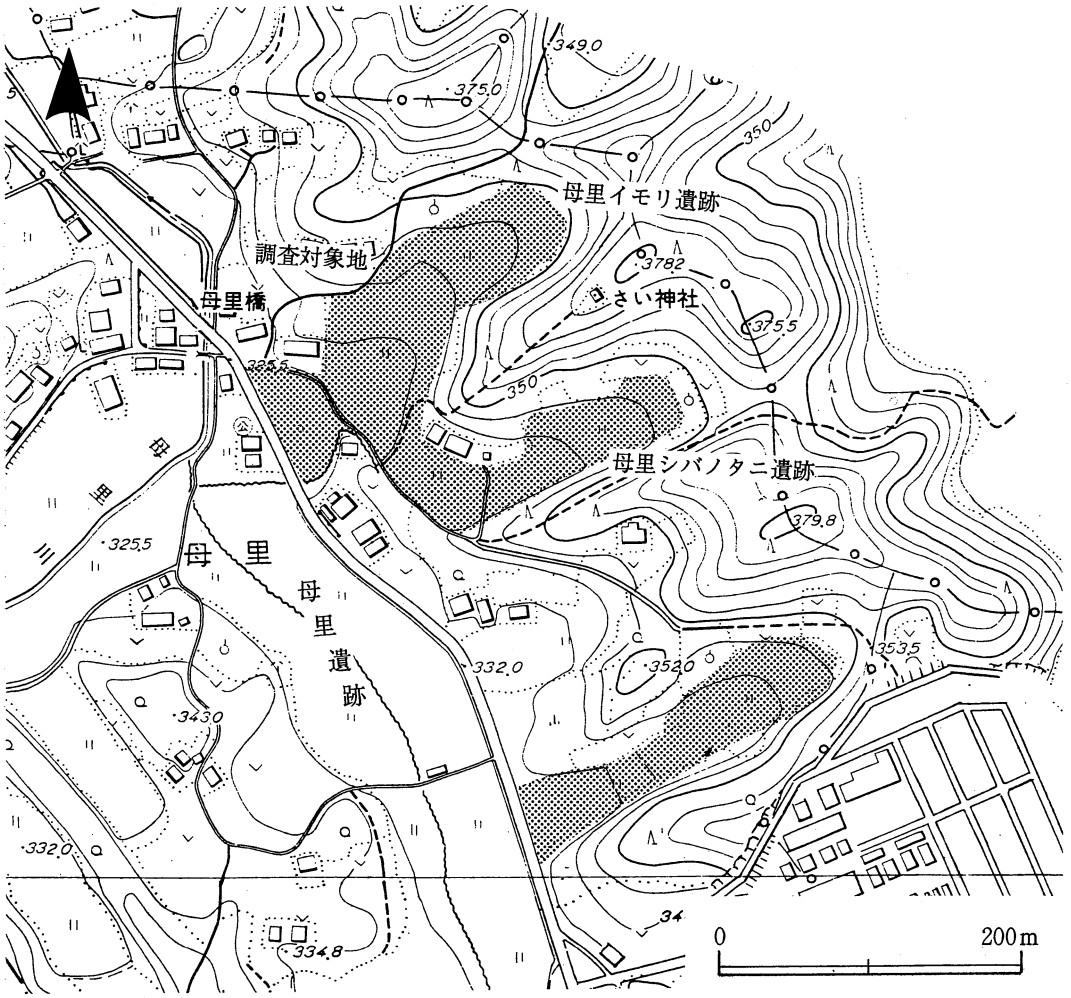

図９　母里遺跡群位置図

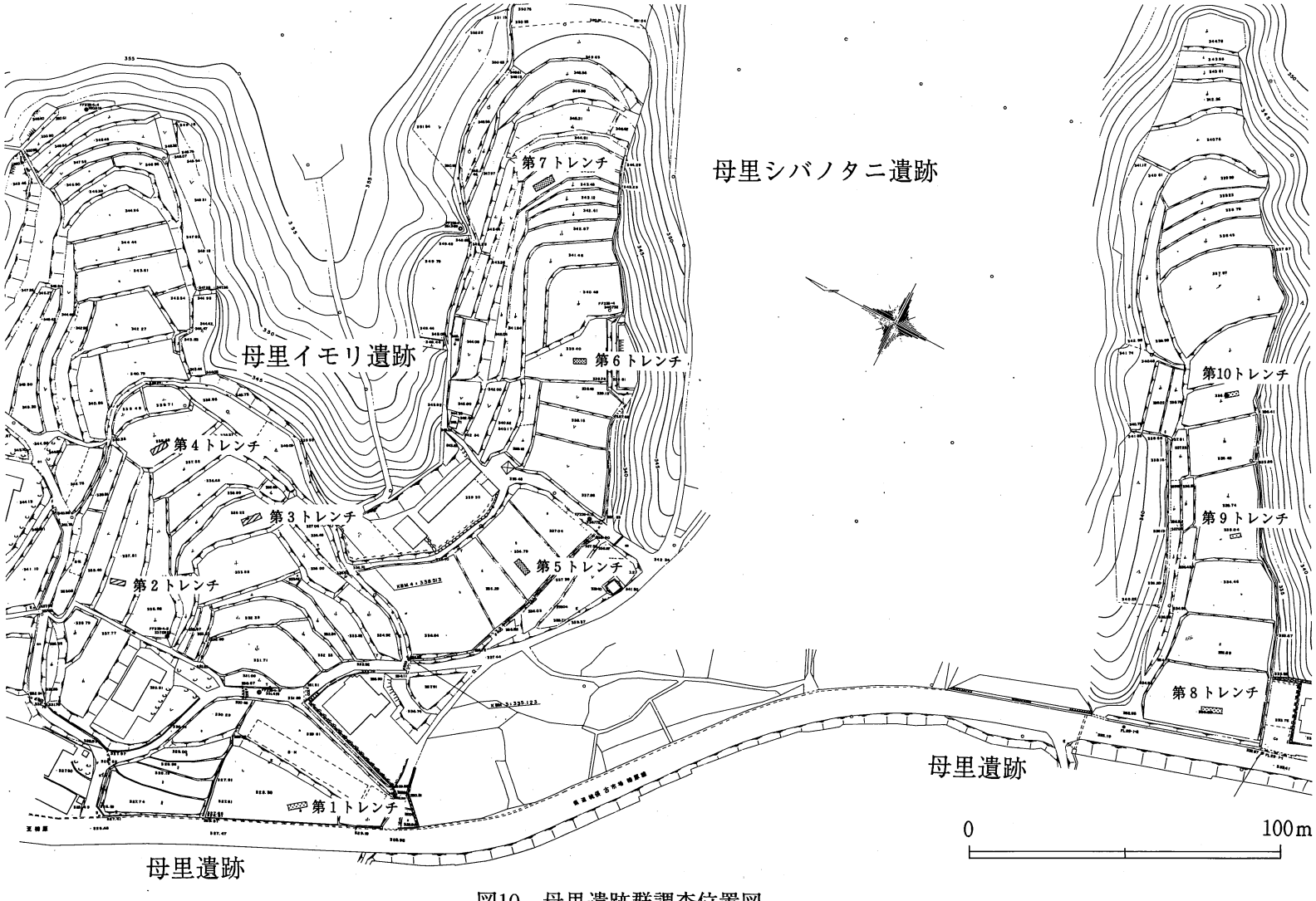

図10　母里遺跡群調査位置図

遺 跡 規 模　南北約500m、東西約500m

時代・種別　弥生時代・古墳時代・中世の遺物散布地

調 査 原 因　農地造成工事（事業主体：榛原町）

現地調査期間　1987年12月15日～12月21日

調 査 面 積　37㎡

検 出 遺 構　なし

検 出 遺 物　なし

調 査 概 要

第1トレンチの基本層序は第1層が耕作土、第2層が灰色粘土、第3層が暗灰色粘土、第4層が淡灰色砂、第5層が黒灰色粘土、第6層が暗灰色砂、第7層が暗灰色粘土となっている。明確な遺構・遺物は認められない。第8トレンチ～第10トレンチの基本層序は第1層が耕作土、第2層が淡黄茶色砂質土・淡茶色粘質土・茶灰色粘質土・橙灰色粘質土、第3層が暗灰色粘土、第4層が黒灰色粘土となっている。第10トレンチの第3層から12世紀代の瓦器片が出土しているが、明確な遺構は認められない。調査地は自然谷地形の埋没と考えられる（図11）。

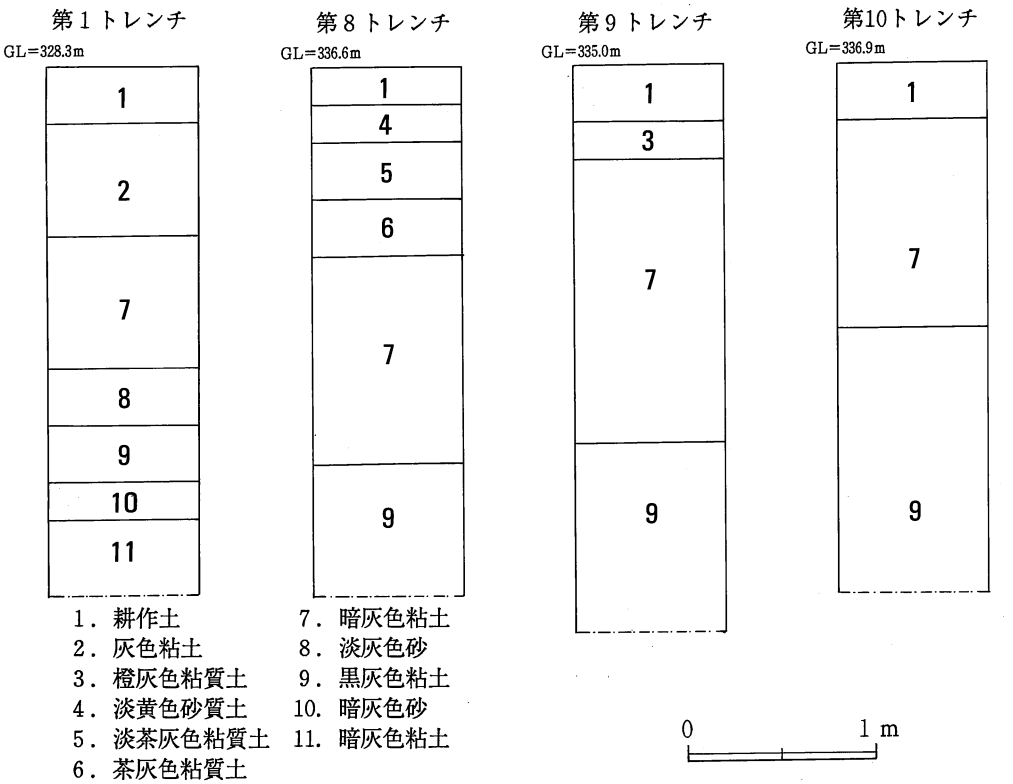

図11　母里遺跡柱状土層断面図

(2) 母里イモリ遺跡

遺　跡　名	母里（もり）イモリ遺跡（榛原町遺跡地図番号 2-496、奈良県遺跡地図番号 未登載）
調　査　地	奈良県宇陀郡榛原町大字母里64-2、89-1、91-2番地
遺跡立地	標高約330～340mの谷
遺跡規模	南北約60m、東西約100m
時代・種別	中世の遺物散布地
調査原因	農地造成工事（事業主体：榛原町）
現地調査期間	1987年12月15日～12月21日

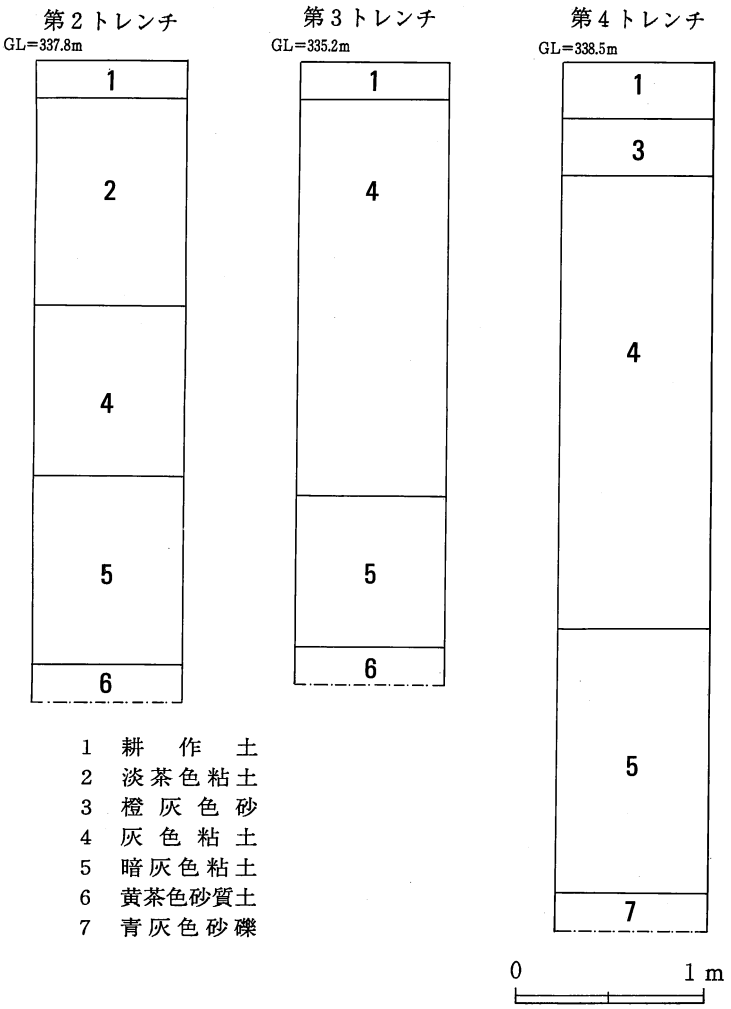

図12　母里イモリ遺跡柱状土層断面図

調 査 面 積　24㎡
検 出 遺 構　なし
検 出 遺 物　瓦器
調 査 概 要

第2トレンチ～第4トレンチの基本層序は、第1層が耕作土、第2層が淡茶色粘質土・橙灰色砂、第3層が灰色粘土、第4層が暗灰色粘土、第5層が黄茶色砂質土・青灰色砂礫となっている（図12)。第3・4トレンチの灰色粘土からは12世紀前葉から中葉と考えられる瓦器細片が出土しているが、明確な遺構は認められない。遺跡西半の住宅周辺は寺院跡（近世？）との伝承があるが、調査地は自然谷地形の埋没と考えられる。

(3) 母里シバノタニ遺跡

遺　跡　名　母里（もり）シバノタニ遺跡（榛原町遺跡地図番号 2-498、奈良県遺跡地図番号 未登載）
調　査　地　奈良県宇陀郡榛原町大字母里120、123、134番地
遺 跡 立 地　標高約340～350mの谷
遺 跡 規 模　南北約100m、東西約80m
時代・種別　中世の遺物散布地
調 査 原 因　農地造成工事（事業主体：榛原町）
現地調査期間　1987年12月15日～12月21日
調 査 面 積　34㎡
検 出 遺 構　なし
検 出 遺 物　陶器
調 査 概 要

第5トレンチ～第7トレンチの基本層序は、第1層が耕作土、第2層が茶灰色粘質土・淡茶色粘質土、3層が灰色粘土、第4層が暗灰色粘土、第5層が黒灰色粘土、第6層が黄灰色粘土、第7層が黄灰色砂となっている（図13)。第7トレンチの暗灰色粘土と黄灰色粘土からは中世の瓦器、土師器等の細片が出土しているが、明確な遺構は認められない。調査地は自然谷地形の埋没と考えられる。

第7トレンチの黄灰色粘土からは陶器椀が出土しており、復元口径10.4cm、高台径4.3cm、器高3.9cmをはかり、色調は灰白色である。(図14)。

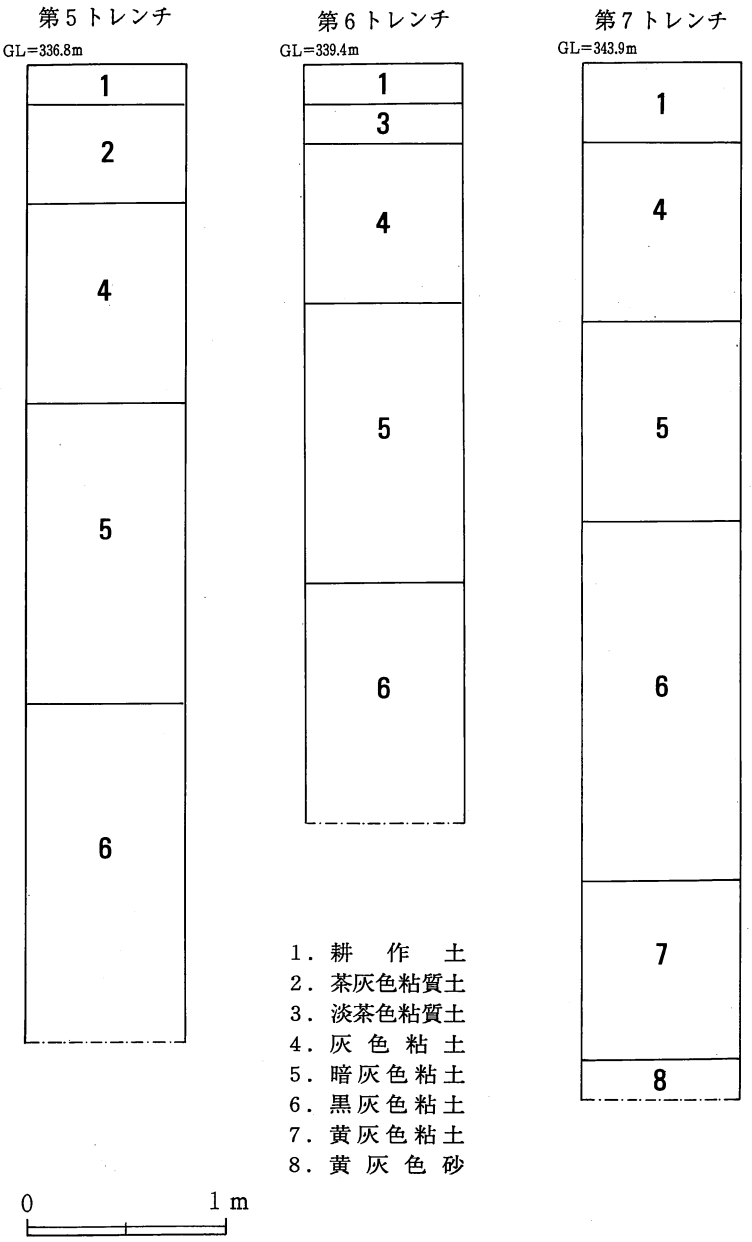

図13　母里シバノタニ遺跡柱状土層断面図

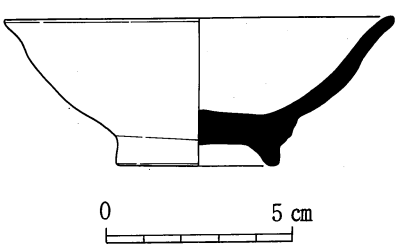

図14　母里シバノタニ遺跡出土遺物実測図

4　沢遺跡隣接地

調 査 地 名　沢（さわ）遺跡隣接地

調　査　地　奈良県宇陀郡榛原町大字沢、大貝、山路

調査地立地　標高約325～330ｍの低地

調 査 原 因　農地造成工事（事業主体：榛原町）

現地調査期間　1987年12月17日～1987年12月18日

調 査 面 積　126㎡

検 出 遺 構　なし（芳野川の氾濫原）

検 出 遺 物　土師器

調 査 概 要

沢遺跡は、縄文時代から中世の遺物が散布しており、縄文時代から弥生時代の集落跡、中世の城館跡と考えられる。事業予定地は、この沢遺跡の北西に隣接する水田地域で、遺跡の範囲を確認するため、７箇所にトレンチを設定した。各トレンチの概要は次のとおりである（図15･16）。

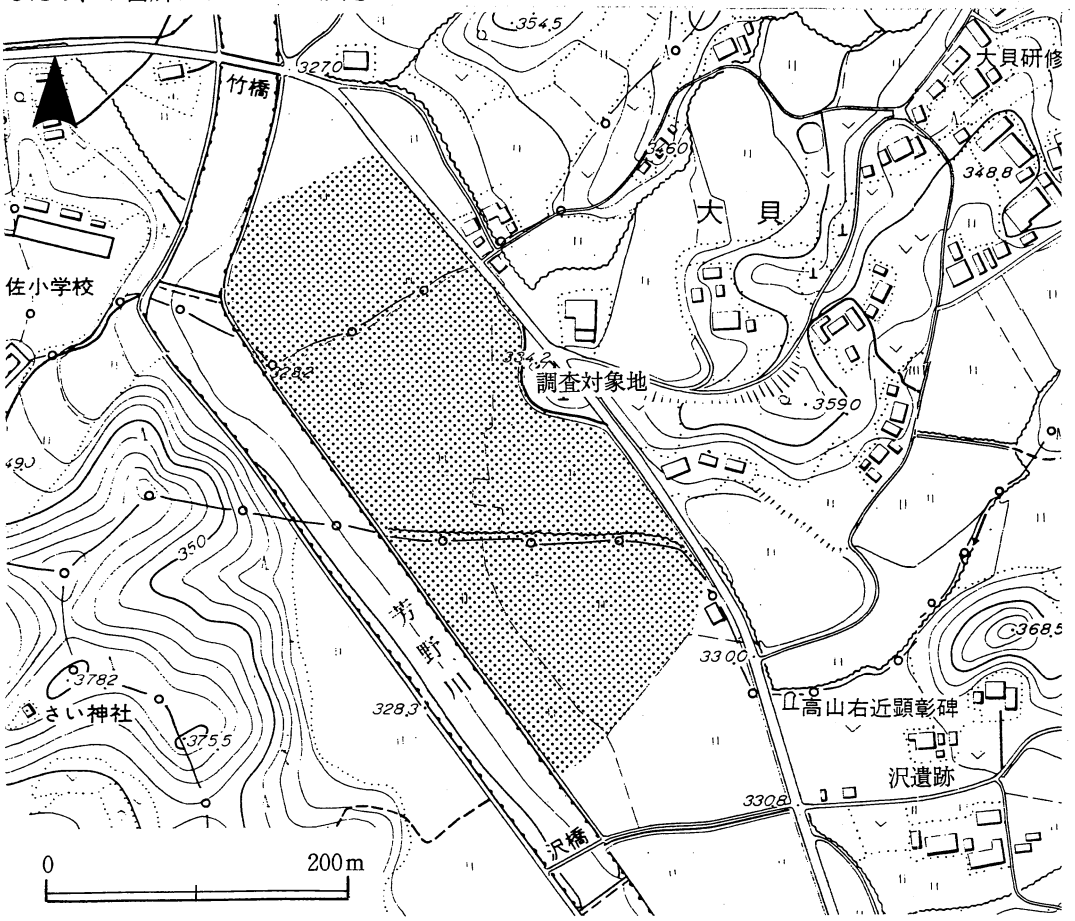

図15　沢遺跡隣接地位置図

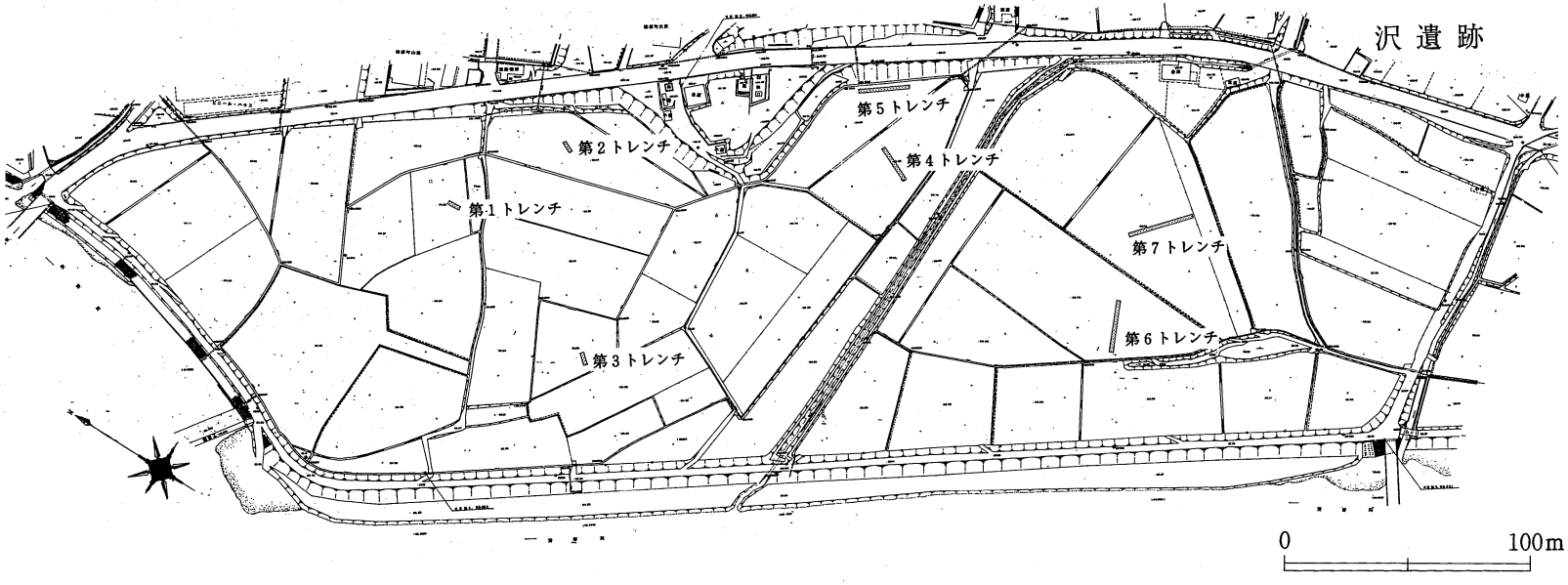

図16　沢遺跡隣接地調査位置図

第１トレンチ・第２トレンチの基本層序は、第１層が耕作土、第２層が橙灰色粘質土・灰色粘質土、第３層が淡茶色砂質土、第４層が黄茶色砂礫である。明確な遺構・遺物は認められない。

第３トレンチの基本層序は、第１層が耕作土、第２層が橙灰色粘質土、第３層が茶灰色粘質土、第４層が黄茶色砂礫である。

第４トレンチの基本層序は、第１層が耕作土、第２層が橙灰色粘質土、第３層が茶灰色粘質土、第４層が茶色土、第５層が淡茶色砂礫、第６層が灰色粘土、第７層が黄茶色砂礫である。

第５トレンチ・第６トレンチの基本層序は、第１層が耕作土、第２層が橙灰色粘質土、第３層が黄茶色砂礫である。

第７トレンチの基本層序は、第１層が耕作土、第２層が橙灰色粘質土、第３層が淡茶色砂質土、第４層が灰色粘土、第５層が黄茶色砂礫である。第５層から土師皿細片が出土したものの明確な遺構は認められない。

以上のとおり、明確な遺構、顕著な遺物は認められず、調査対象地の水田は芳野川の氾濫原と考えられる。沢遺跡の西端は、調査結果および地形から現在の南北方向の町道より西側へは広がらないと考えられる。

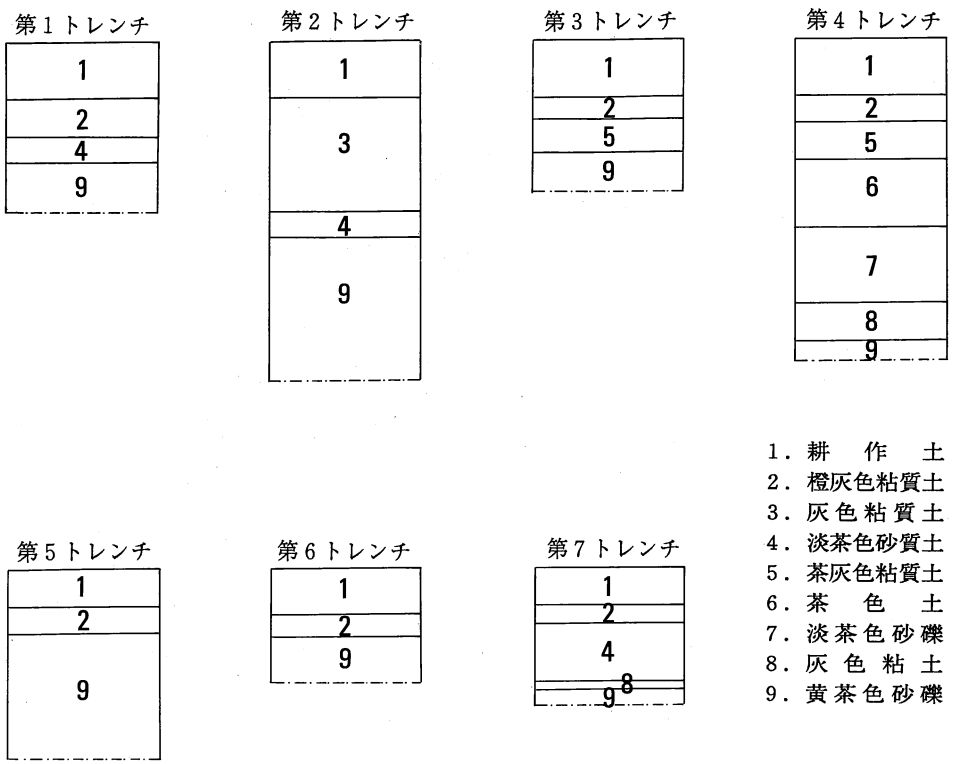

図17　沢遺跡隣接地柱状土層断面図

Ⅳ 立 会 調 査 概 要

1 桧牧市場遺跡

遺 跡 名	桧牧市場遺跡（榛原町遺跡地図番号 1-67、奈良県遺跡地図番号 未登載）
調 査 地	奈良県宇陀郡榛原町大字桧牧
遺 跡 立 地	標高約299～330ｍの河岸段丘
時代・種別	中世の遺物散布地
調 査 原 因	農地造成工事（事業主体：榛原町）
現地調査期間	1986年12月２日・12月18日、1987年２月19日
立 会 面 積	77㎡
検 出 遺 構	なし
出 土 遺 物	土師器

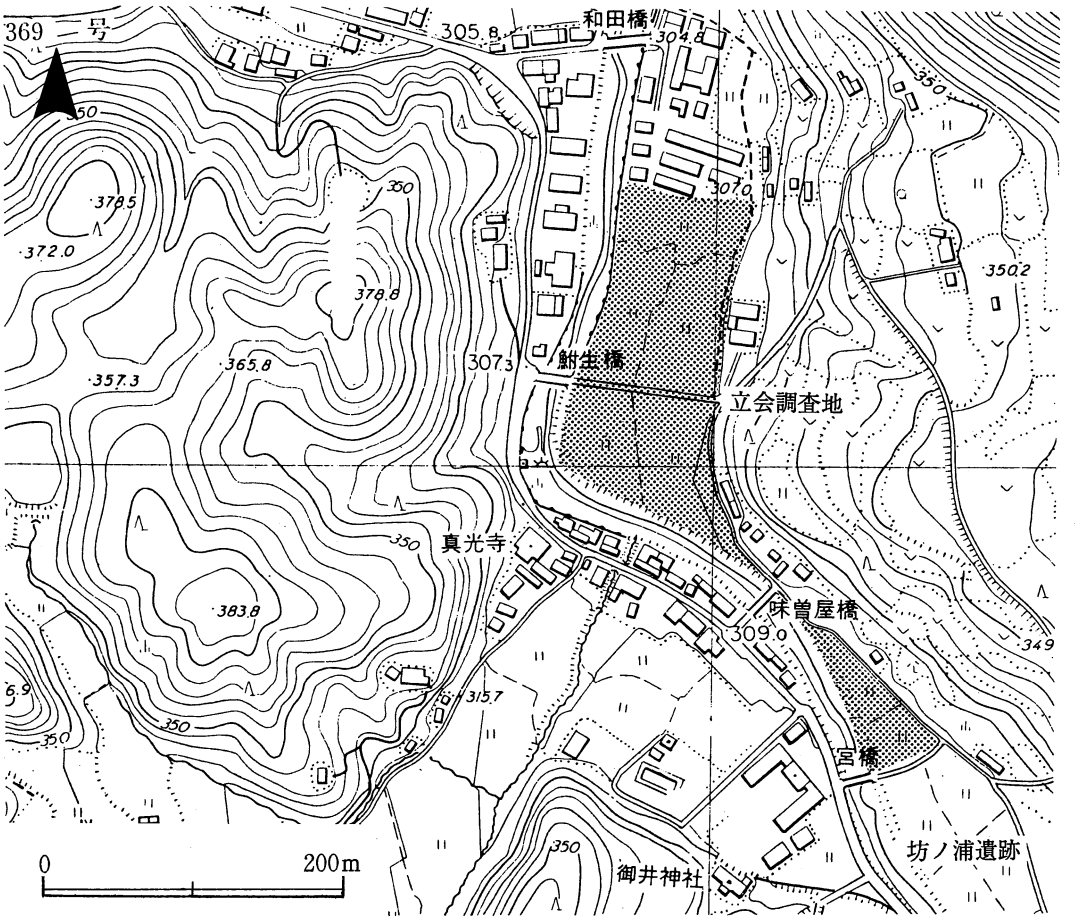

図18 桧牧市場遺跡調査位置図(1)

調 査 概 要

内牧川右岸の河岸段丘上の水田部分において、５箇所の立会調査を実施した（図18･19）。

第１トレンチ～第３トレンチの基本層序は、第１層が耕作土、第２層が黄灰色粘質土、第３層が黄茶色粘質土、第４層が黄色砂質土、第５層が淡茶色砂礫となっている。第２層からは土師器細片が出土したのみで、明確な遺構は認められない。

第４トレンチの基本層序は、第１層が耕作土、第２層が黄灰色粘質土、第３層が黒灰色粘質土、

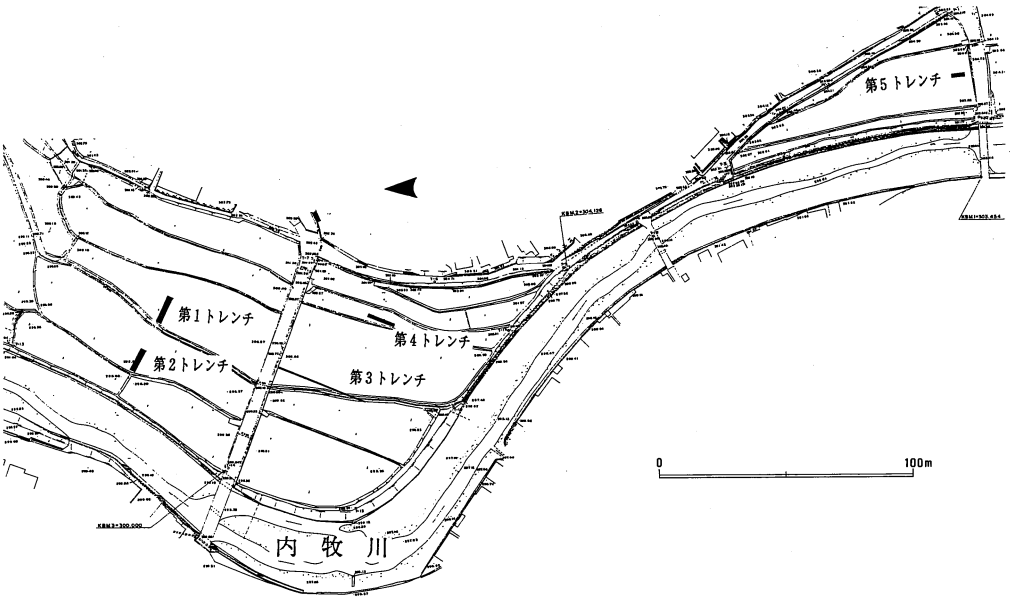

図19　桧牧市場遺跡調査位置図(2)

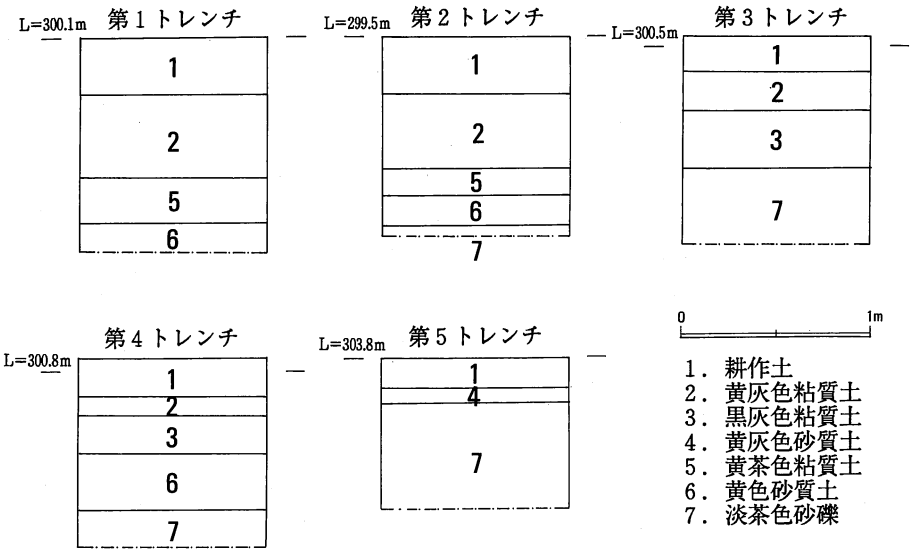

図20　桧牧市場遺跡柱状土層断面図

第4層が黄色砂質土、第5層が淡茶色砂礫となっている。第3層からは土師器細片が出土したのみで、明確な遺構は認められない。

第5トレンチは、本来、「坊ノ浦遺跡」と呼称すべきであるが、調査の都合上、本項に含めておく。基本層序は第1層が耕作土、第2層が黄灰色砂質土、第3層が淡茶色砂礫となっている。明確な遺構・遺物は認められない。

2　八滝家ノ前遺跡

遺　跡　名	八滝家ノ前遺跡（榛原町遺跡地図番号 4-22、奈良県遺跡地図番号 105-2）
調　査　地	奈良県宇陀郡榛原町大字八滝981番地
遺跡立地	標高約490～510mの尾根斜面
遺跡規模	南北約70m、東西約220m
時代・種別	平安時代～中世の遺物散布地
調査原因	農地造成工事（事業主体：個人）
現地調査期間	1987年7月23日
立会面積	2000㎡（工事面積）
検出遺構	落ち込み状遺構
出土遺物	須恵器、黒色土器、瓦器、土師器

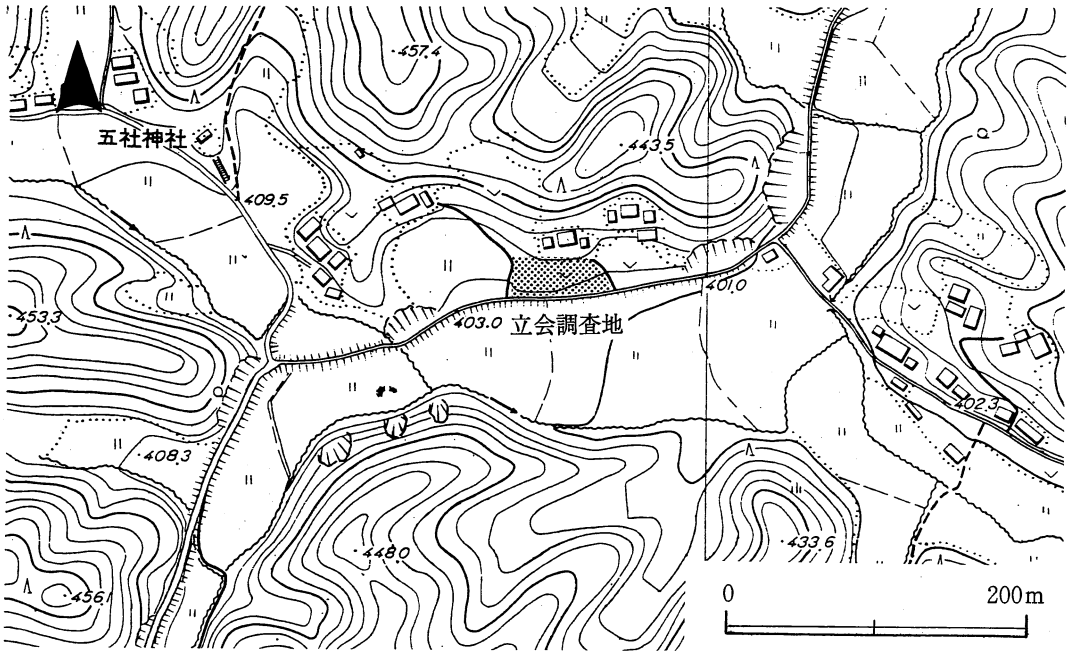

図21　八滝家ノ前遺跡調査位置図（1）

調 査 概 要

1987年２月に実施した発掘調査地の東隣において個人が同年４月10日から11日にかけて農地造成工事を先行実施したため、「埋蔵文化財発掘届」の提出を求め、北側法面において土層断面観察・遺物の有無を確認する立会調査を実施した（図21･22)。

工事地の北半は掘削され、その土砂を南半に盛土した状況であった。工事地の東側には、比較的多くの中世土器片が散布しており、その北側法面には中世土器を含んだ落ち込み状遺構が認められる。落ち込み状遺構は、断面観察で東西幅約10～12m、深さ１m以上を確認でき、埋土は上層がやや粘質の暗灰色土、下層が炭片を含む暗灰色粘質土となっており、12世紀前葉～中葉の瓦器や土師器の細片が出土している（図23)。

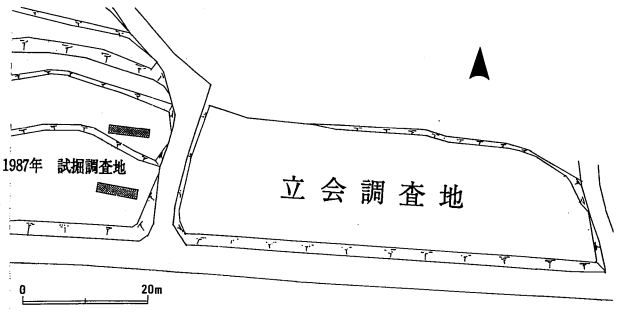

図22　八滝家ノ前遺跡調査位置図 (2)

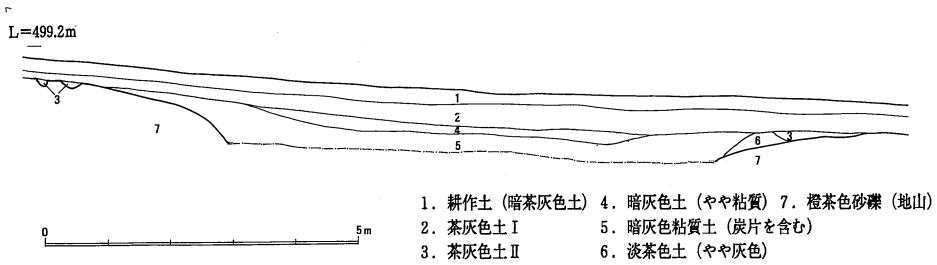

図23　八滝家ノ前遺跡東端土層断面図

3　沢カジヤ谷地区

地　区　名　沢（さわ）カジヤ谷地区

調　査　地　奈良県宇陀郡榛原町大字沢686-1、687-1、688-1番地

地区立地　標高約345ｍの谷

調査原因　個人住宅建設工事（事業主体：個人）

現地調査期間　1988年２月10日

立会面積　18㎡

検出遺構　なし

出土遺物　なし

調査概要

古墳時代・中世を中心とする野山遺跡群（古墳群）に隣接する谷部分に相当するため立会調査を実施した。整地土下は、水田耕作土となっており、明確な遺構・遺物は認められない（図24）。

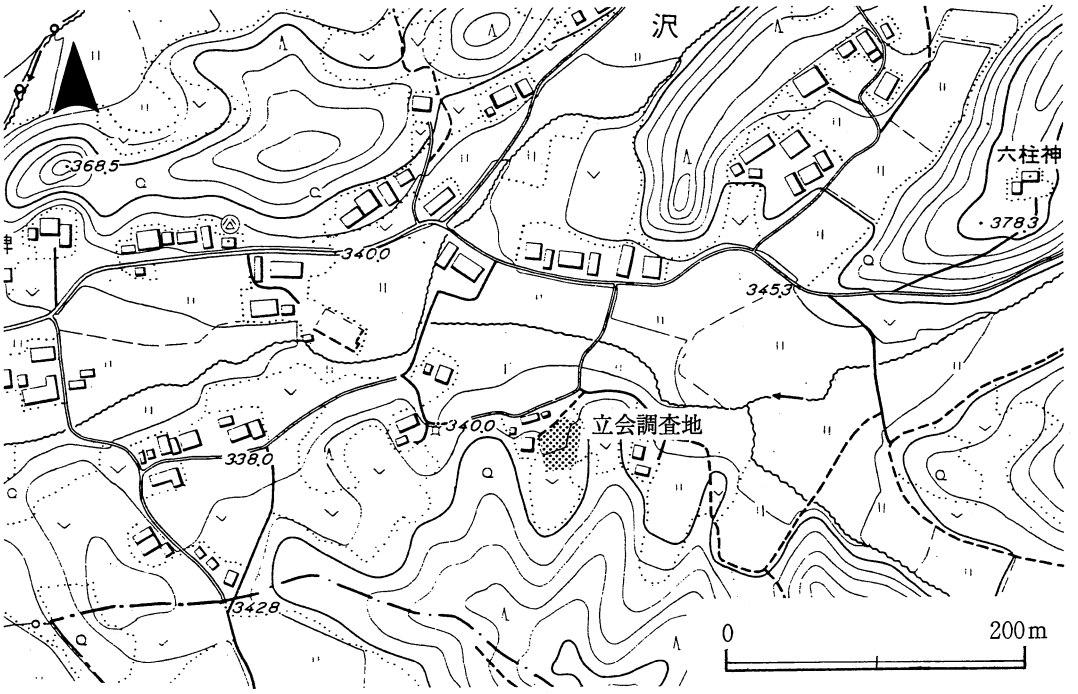

図24　沢カジヤ谷地区調査位置図

4　坊ノ浦遺跡

遺　跡　名　坊ノ浦（ぼうのうら）遺跡（榛原町遺跡地図番号 4-3、奈良県遺跡地図番号 103-51）

調　査　地　奈良県宇陀郡榛原町大字自明・桧牧

遺 跡 立 地　標高約310～320ｍの河岸段丘

遺 跡 規 模　南北約150ｍ、東西約600ｍ

時代・種別　縄文時代、平安時代～中世の遺物散布地

調 査 原 因　河川改修工事（事業主体：奈良県）

現地調査期間　1988年６月16日、1989年２月３日、1990年２月２日

立 会 面 積　1000㎡（工事面積）

検 出 遺 構　なし

検 出 遺 物　土師器

調 査 概 要

内牧川右岸の拡張に伴う立会調査を３回にわたって実施した（図25･26）。基本層序は、第１層が耕作土、第２層が橙茶色粘質土、第３層が灰褐色粘質土、第４層が淡黄茶色砂質土・暗褐色砂質土、第５層が赤褐色砂礫、第６層が黒色砂礫となっている。第４層上面が遺構面と推定される。

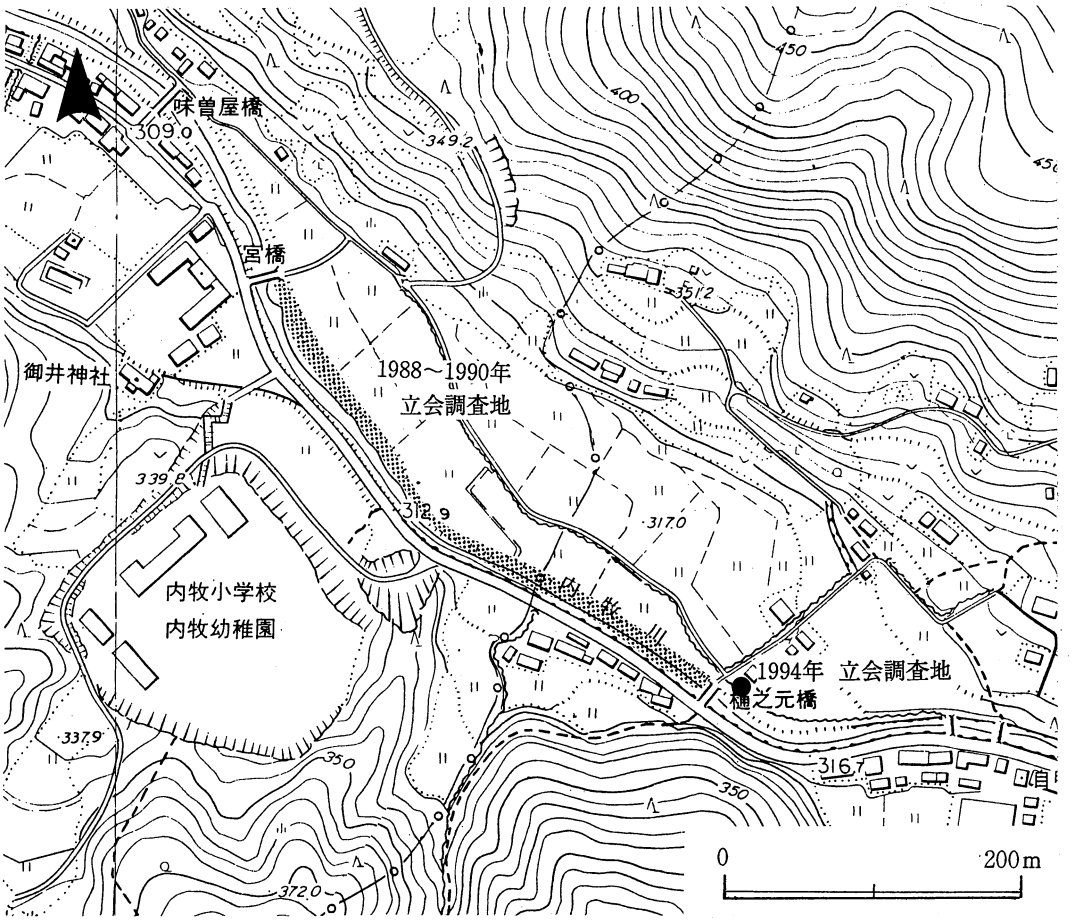

図25　坊ノ浦遺跡調査位置図

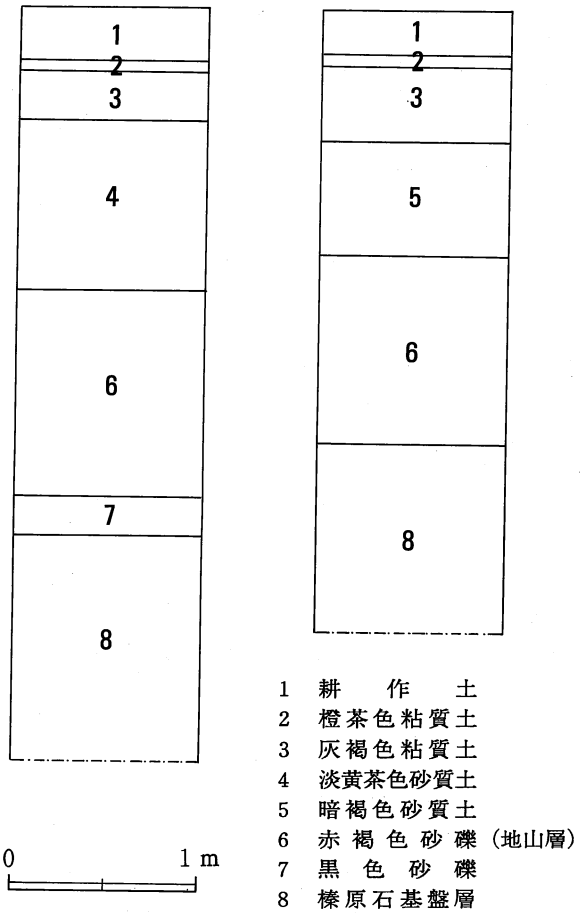

図26　坊ノ浦遺跡柱状土層断面図

5　坊ノ浦遺跡（図25）

遺　跡　名	坊ノ浦（ぼうのうら）遺跡（榛原町遺跡地図番号 4-3、奈良県遺跡地図番号 103-51）
調　査　地	奈良県宇陀郡榛原町大字自明137-1番地
遺跡立地	標高約310～320ｍの河岸段丘
遺跡規模	南北約150ｍ、東西約600ｍ
時代・種別	縄文時代、平安時代～中世の遺物散布地
調査原因	駐車場造成工事（事業主体：個人）
現地調査期間	1994年11月４日
立会面積	311㎡（工事面積）
検出遺構	なし

検 出 遺 物　　なし

調 査 概 要　　盛土作業の立会

6　丹切古墳群（図27）

遺　跡　名　　丹切（たんぎり）古墳群

調　査　地　　奈良県宇陀郡榛原町大字下井足

調 査 原 因　　グランド整備工事（事業主体：奈良県）

現地調査期間　　1988年11月22日

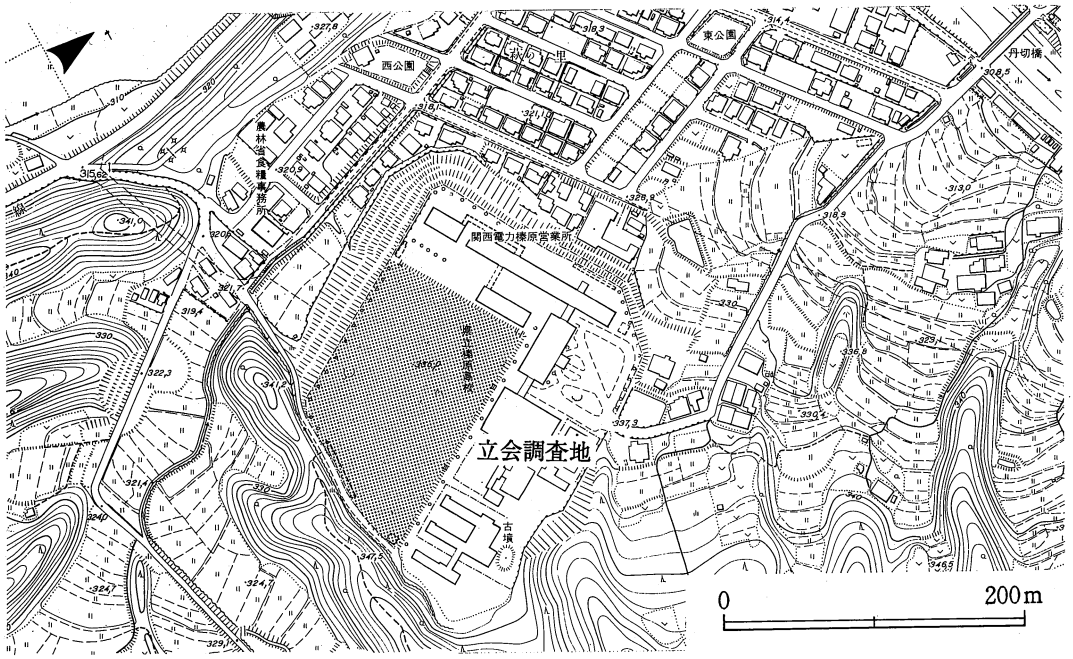

図27　丹切古墳群調査位置図

立 会 面 積　　14215㎡（工事面積）

検 出 遺 構　　なし

検 出 遺 物　　なし

調 査 概 要

すでに県立榛原高等学校の敷地造成の際に発掘調査が実施されている。グランド整地土下には、削平された尾根の一部を観察できるが、明確な遺構・遺物は認められない。

7　丹切遺跡（図28）

遺　跡　名	丹切（たんぎり）遺跡（榛原町遺跡地図番号 1-98、奈良県遺跡地図番号 15-B-8）
調　査　地	奈良県宇陀郡榛原町大字萩原　元萩原200-1、201番地
遺 跡 立 地	標高約306～330ｍの尾根・谷・河岸段丘
遺 跡 規 模	南北約700～800ｍ、東西約300～400ｍ
時代・種別	縄文時代～中世の遺物散布地
調 査 原 因	駐車場造成工事（事業主体：個人）
現地調査期間	1992年６月17日
立 会 面 積	378㎡（工事面積）
検 出 遺 構	なし
検 出 遺 物	なし
調 査 概 要	盛土作業の立会

図28　丹切遺跡調査位置図(1)

8　丹切遺跡（図29）

遺　跡　名	丹切（たんぎり）遺跡（榛原町遺跡地図番号 1-98、奈良県遺跡地図番号 15-B-8）
調　査　地	奈良県宇陀郡榛原町大字萩原　元萩原585、586番地
遺跡立地	標高約306～330mの尾根・谷・河岸段丘
遺跡規模	南北約700～800m、東西約300～400m
時代・種別	縄文時代～中世の遺物散布地
調査原因	農業資材置場造成工事（事業主体：個人）
現地調査期間	1992年8月18日
立会面積	383㎡（工事面積）
検出遺構	なし
検出遺物	なし
調査概要	盛土作業の立会

図29　丹切遺跡調査位置図(2)

9　丹切遺跡（図30）

遺　跡　名	丹切（たんぎり）遺跡（榛原町遺跡地図番号 1-98、奈良県遺跡地図番号 15-B-8）
調　査　地	奈良県宇陀郡榛原町大字萩原　元萩原344、345番地
遺 跡 立 地	標高約306～330ｍの尾根・谷・河岸段丘
遺 跡 規 模	南北約700～800ｍ、東西約300～400ｍ
時代・種別	縄文時代～中世の遺物散布地
調 査 原 因	農地造成工事（事業主体：個人）
現地調査期間	1993年４月９日
立 会 面 積	660㎡（工事面積）
検 出 遺 構	なし
検 出 遺 物	なし
調 査 概 要	盛土作業の立会

図30　丹切遺跡調査位置図(3)

10　戒場遺跡（図31）

遺　跡　名　戒場（かいば）遺跡（榛原町遺跡地図番号 3-1･2、奈良県遺跡地図番号 103-9･10）

調　査　地　奈良県宇陀郡榛原町大字戒場818-2番地

遺跡立地　標高約520～550mの丘陵南斜面・傾斜地

遺跡規模　南北約2500m、東西約300m

時代・種別　縄文時代・平安時代～中世の遺物散布地、平安時代の寺院跡

調査原因　構造改善センター建設工事（事業主体：榛原町）

現地調査期間　1993年３月１日

立会面積　197㎡

検出遺構　なし

検出遺物　なし

調査概要

戒場遺跡は、平安時代後期には戒長寺境内に相当すると考えられる。その南門跡近くにおいて地区の公民館相当施設が建設されることとなったため、浄化槽埋設箇所を中心に立会調査を行つた。現地表直下は、いわゆる榛原石の基盤層で明確な遺構・遺物は認められず、すでに旧公民館建設によって基盤層が掘削されている。

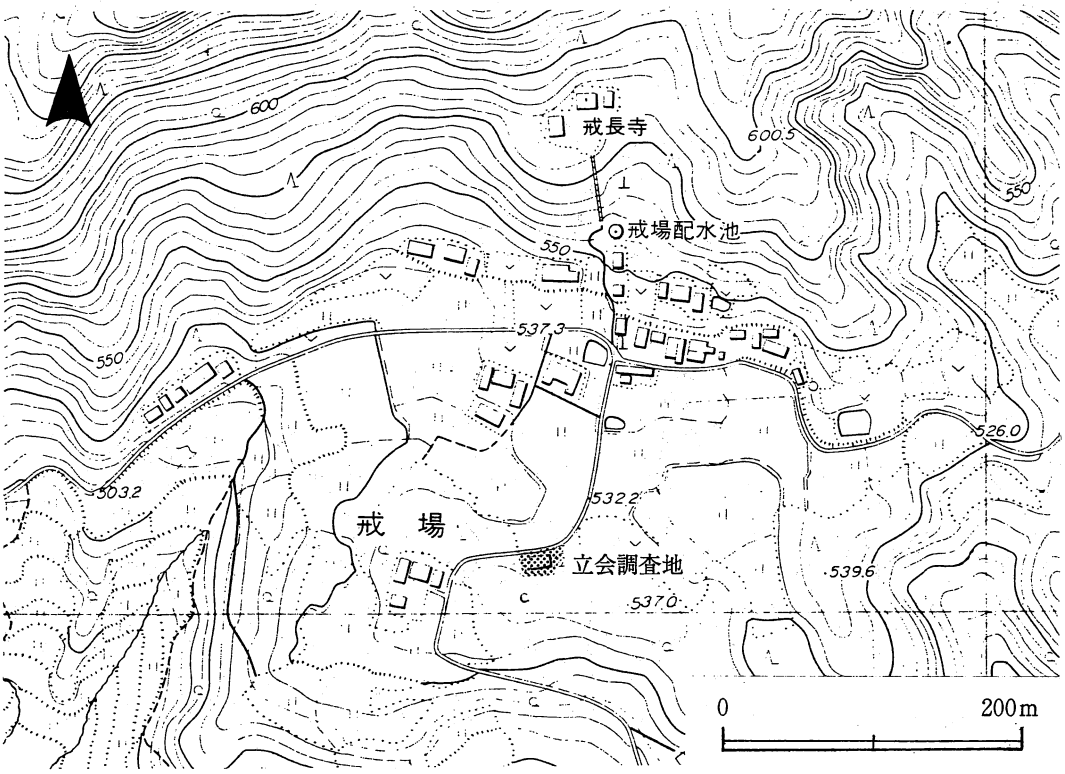

図31　戒場遺跡調査位置図

11　八滝長坂遺跡（図32）

遺　跡　名	八滝長坂（やだきながさか）遺跡（榛原町遺跡地図番号 4-23、奈良県遺跡地図番号 105-3）
調　査　地	奈良県宇陀郡榛原町大字八滝1125番地ほか
遺 跡 立 地	標高約394～400m谷
遺 跡 規 模	南北約70m、東西約600m
時代・種別	縄文時代～中世の遺物散布地
調 査 原 因	農地造成工事（事業主体：個人）
現地調査期間	1994年３月４日
立 会 面 積	4800㎡（工事面積）
検 出 遺 構	なし
検 出 遺 物	なし
調 査 概 要	盛土作業の立会

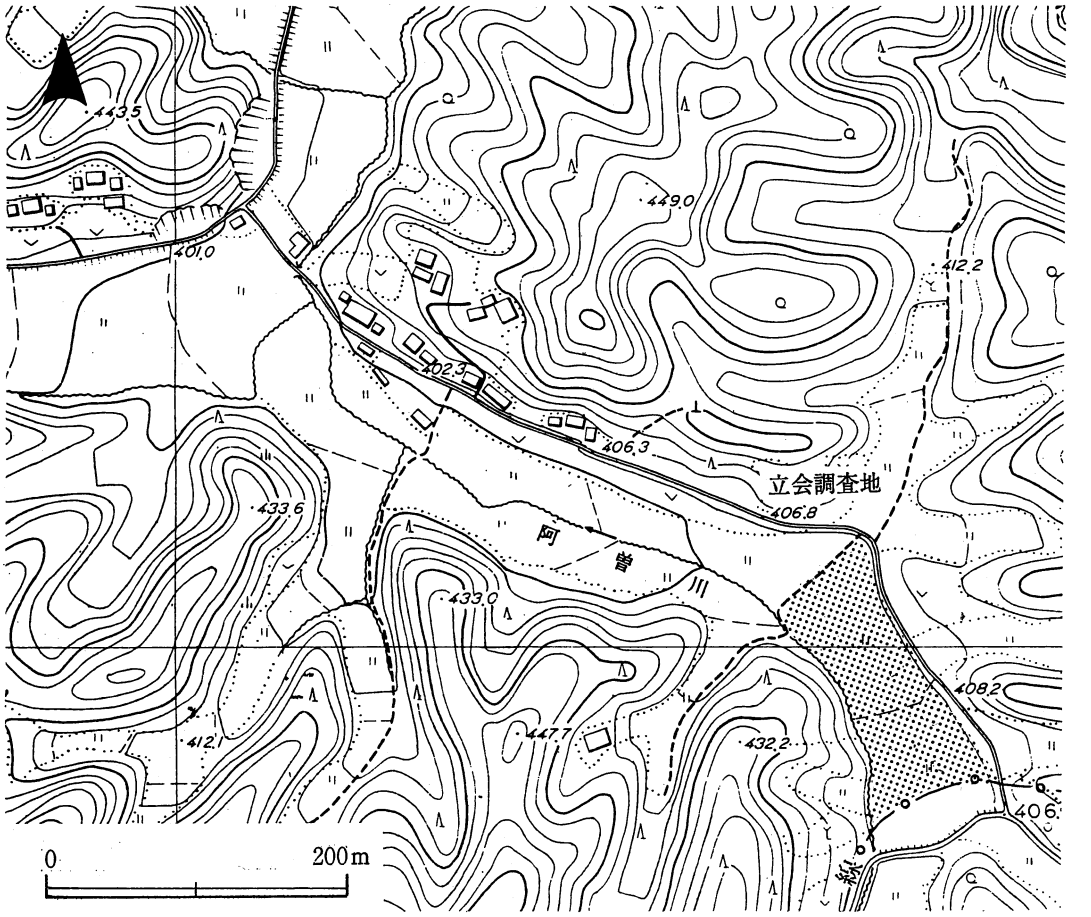

図32　八滝長坂遺跡調査位置図

12　笠間所在遺跡（図33）

遺　跡　名　　未定（仮称　笠間（かさま）所在遺跡）

（榛原町遺跡地図番号 2-300、奈良県遺跡地図番号 15-B-190）

調　査　地　　奈良県宇陀郡榛原町大字笠間2414-1番地

遺 跡 立 地　　標高約330～340m河岸段丘・谷

遺 跡 規 模　　南北約50m、東西約250m

時代・種別　　古墳時代の遺物散布地

調 査 原 因　　農業用倉庫建設工事（事業主体：個人）

現地調査期間　　1994年12月16日

立 会 面 積　　168㎡（工事面積）

検 出 遺 構　　なし

検 出 遺 物　　なし

調 査 概 要　　盛土作業の立会

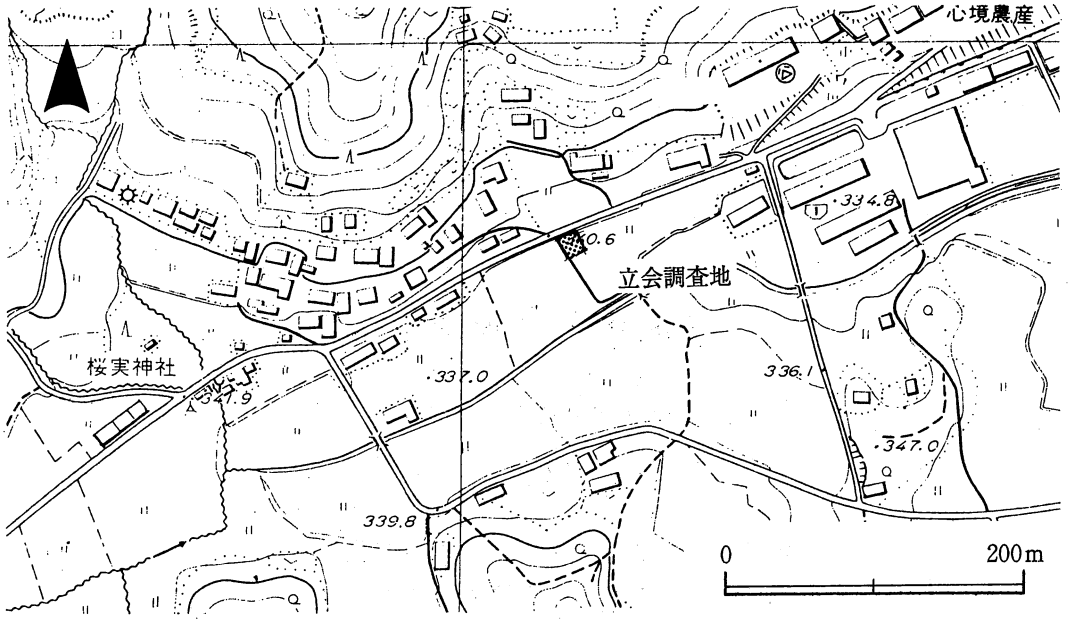

図33　笠間所在遺跡調査位置図

榛原町遺跡調査集 I

榛原町文化財調査概要　15

1995年　3月31日　発行

編集　榛原町教育委員会
発行　奈良県宇陀郡榛原町萩原164番地

印刷　株式会社　中西文山堂
奈良県橿原市今井町3丁目31－1